

**武蔵野市第五期長期計画
無作為抽出市民ワークショップⅢ**

(平成23年10月16日・23日開催)

報告書

武蔵野市

目 次

§ 1	ワークショップ討議結果報告	
1	目的	3
2	位置づけ	3
3	テーマ及び実施方法	4
4	出された意見	
	(1) 分野ごとの得票順	
	①「健康・福祉」分野	5
	②「子ども・教育」分野	10
	③「文化・市民生活」分野	15
	④「緑・環境」分野	20
	⑤「都市基盤」分野	25
	⑥「行・財政」分野	31
	(2) グループごとの発表シート・作業シート	
	①「健康・福祉」分野	37
	②「子ども・教育」分野	41
	③「文化・市民生活」分野	45
	④「緑・環境」分野	49
	⑤「都市基盤」分野	53
	⑥「行・財政」分野	57
§ 2	ワークショップ実施状況報告	
1	事業概要	63
2	事務日程	64
3	当日の進行	65
4	参加者の状況等	66
5	今回の無作為抽出市民ワークショップの成果・評価	
	(1) 参加者を無作為抽出としたことの成果・評価	71
	(2) ワークショップに用いた手法の評価	72
	(3) 無作為抽出市民ワークショップの今後の課題	74
	資料	
1	参加者属性	79
2	参加者アンケート集計結果	80
3	参加不承諾者アンケート集計結果	88
4	その他資料	
	(1) ワークショップのご案内	103
	(2) ワークショップへのご案内（再送付）	104
	(3) 参加承諾者への当選通知	104
	(4) 参加承諾者への落選通知	105
	(5) 見学のルール	105
	(6) プログラム	106
	(7) 分野ごとの情報提供資料（当日配付）	107

§ 1 ワークショップ討議結果報告

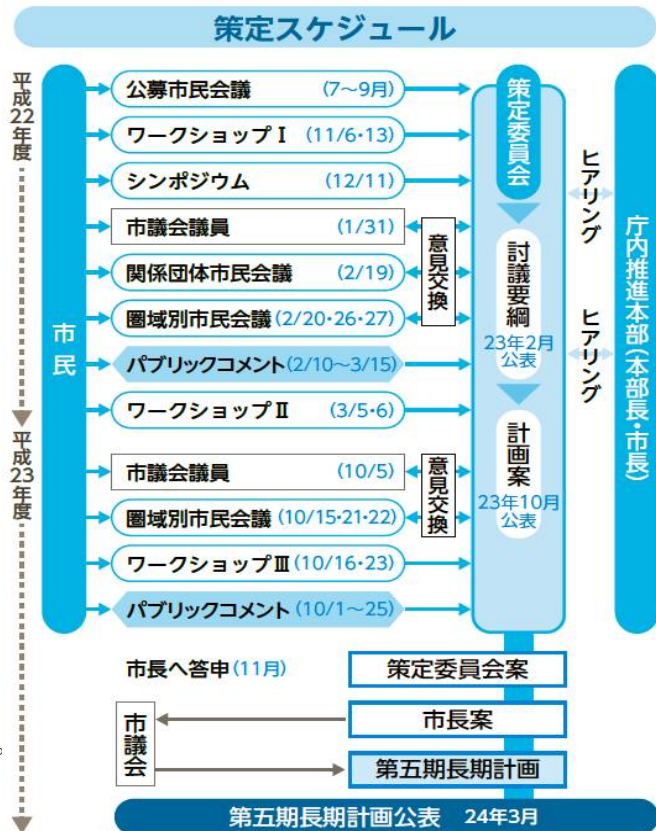
1 目的

武蔵野市では、平成 22 年・23 年の 2 か年で第五期長期計画を策定している。策定は、市民参加・議員参加・職員参加により行っており、無作為抽出市民ワークショップは、その策定過程において、市民参加の一環として第五期で初めて実施した。これまで市政などに参加の機会が無かった多くの市民にも参加いただき、多様な意見をいただくとともに、今後の社会参加のきっかけの一助になることを目的としている。

2 位置づけ

第五期長期計画の策定は、市民 7 名と副市長 2 名で構成される策定委員会を中心として、公募市民会議や関係団体・圏域別の市民会議、パブリックコメントなど様々な方法で市民とともに進められてきた。ワークショップは、その策定過程において、市民参加の一環として開催したものである。

ワークショップ I では「武蔵野市の将来像について」を、ワークショップ II では「討議要綱について」、今回のワークショップ III では「計画案について」をテーマに開催した。本ワークショップから出された意見は、市長へ報告するとともに、計画案策定に向けた議論の資料として策定委員会へも報告した。



3 テーマ及び実施方法

今回のワークショップは「第五期長期計画計画案」をテーマとして行い、中でも計画案中の「施策の体系」に沿って、「健康・福祉」「子ども・教育」「文化・市民生活」「緑・環境」「都市基盤」「行・財政」の6つの分野に分かれて討議等を行った。討議は、前回までと同様、各分野について1グループ4～5名ずつ7グループに分かれて行った。

- ①受付でくじを引いて、分野とグループを決定
- ②分野ごとの情報提供
- ③自由に議論
- ④メンバー交代をして議論
(多くの方と意見交換することで、より深い議論とするため)
- ⑤当初のメンバーに戻って議論、グループの意見をまとめ

- ・基本的に計画案に記載してある項目ごとに分類し、その中から特に主張すべき意見を3つまで選ぶ。計画案に書かれていない内容や、計画案の項目と異なるまとめ方をした場合はグループでタイトルをつけてまとめる。
- ・項目を選んだ理由と意見を発表用シートに記載

- ⑥分野内でグループごとに発表
- ⑦一人3票ずつ投票、順位付け

なお、計画案には、施策の体系以外にも「本計画期間における基本課題」や「重点施策」などがあるが、これらについて意見がある場合は別途パブリックコメント等で提出するようお願いした。

<参考>武蔵野市第五期長期計画 計画案 目次

<p>はじめに</p> <p>第1章 市勢</p> <p>1 概要</p> <p>2 将来展望</p> <p>1)人口構成</p> <p>2)財政計画</p> <p>第2章 長期計画策定方式</p> <p>1 武蔵野市方式の継承</p> <p>2 長期計画の役割・位置づけ</p> <p>3 計画期間と計画のローリング</p> <p>4 進捗管理と評価</p> <p>1)進捗管理</p> <p>2)評価</p> <p>第3章 これまでの成果</p> <p>1 第四期基本構想・長期計画(平成17～26年度)の実績と評価の概要</p> <p>2 第四期長期計画・調整計画(平成20～24年度)の実績と評価の概要</p> <p>第4章 基本的な考え方、市政を取り巻く主な動向、基本課題</p> <p>1 本計画の基本的な考え方</p> <p>1)市民自治の原則</p> <p>2)計画的な市政運営</p> <p>3)市民視点の重視</p> <p>4)広域連携の推進</p> <p>2 市政を取り巻く主な動向</p> <p>1)状況等の変化</p> <p>2)本市における東日本大震災の影響</p> <p>3 本計画期間における基本課題</p> <p>課題A 地域社会・地域活動の活性化</p> <p>課題B 公共サービスの連続性と情報連携の推進</p> <p>課題C 市民施設ネットワークの再構築</p> <p>課題D 都市基盤再整備の推進</p> <p>第5章 重点施策</p> <p>1)地域リハビリテーションの推進</p> <p>2)子育て支援の多層化・ネットワーク化の推進</p> <p>3)情報の収集・提供機能の強化</p> <p>4)市民施設のネットワークの再編</p>	<p>5)新武蔵野グリーンセンター(仮称)の建設と周辺まちづくりの推進</p> <p>6)上下水道の再整備</p> <p>7)三駅周辺のまちづくりの推進</p> <p>第6章 施策の体系</p> <p>I 健康・福祉</p> <p>基本施策1 支え合いの気持ちをつむぐ</p> <p>基本施策2 誰もが地域で安心して暮らしていける仕組みづくりの推進</p> <p>基本施策3 誰もがいつまでも健康な生活を送るための健康づくりの推進</p> <p>基本施策4 誰もが地域でいきいきと輝けるステージづくり</p> <p>基本施策5 住み慣れた地域での生活を継続するための基盤整備</p> <p>II 子ども・教育</p> <p>基本施策1 子ども自身の育ちと子育て家庭への総合的支援</p> <p>基本施策2 地域社会全体の連携による子ども・子育て支援の充実</p> <p>基本施策3 青少年の成長・自立への支援</p> <p>基本施策4 子ども・子育て家庭を支援する体制・施設整備</p> <p>基本施策5 次代を担う力をはぐくむ学校教育</p> <p>III 文化・市民生活</p> <p>基本施策1 地域社会と地域活動の活性化</p> <p>基本施策2 互いに尊重し認め合う社会の構築</p> <p>基本施策3 市民文化の醸成</p> <p>基本施策4 市民の多様な学びやスポーツ活動への支援</p> <p>基本施策5 地域の特徴を活かした産業の振興</p> <p>基本施策6 都市・国際交流の推進</p> <p>基本施策7 災害への備えの拡充</p> <p>基本施策8 多様な危機への対応の強化</p> <p>IV 緑・環境</p> <p>基本施策1 緑・環境都市形成に向けた市民の主体的な行動を促す支援</p> <p>基本施策2 市の環境配慮行動の推進</p>	<p>基本施策3 緑を基軸としたまちづくりの推進</p> <p>基本施策4 循環型社会システムづくりの推進</p> <p>基本施策5 生活を取り巻く様々な環境の変化に伴う新たな問題への対応</p> <p>V 都市基盤</p> <p>基本施策1 地域の特徴に合ったまちづくりの推進</p> <p>基本施策2 都市基盤の更新</p> <p>基本施策3 利用者の視点を重視した安全で円滑な交通環境の整備</p> <p>基本施策4 道路ネットワークの整備</p> <p>基本施策5 下水道の再整備</p> <p>基本施策6 住宅施策の総合的な取組</p> <p>基本施策7 三駅周辺まちづくりの推進</p> <p>基本施策8 安全でおいしい水の安定供給</p> <p>VI 行・財政</p> <p>基本施策1 市政運営への市民参加と多様な主体間の柔軟な連携・協働の推進</p> <p>基本施策2 市民視点に立ったサービスの提供</p> <p>基本施策3 市民に届く情報提供と市民要望に的確に応える仕組みづくり</p> <p>基本施策4 公共施設の再配置・公有財産の有効活用</p> <p>基本施策5 社会の変化に対応していく行政運営</p> <p>基本施策6 チャンジする組織風土の醸成と柔軟な組織運営</p> <p>第7章 財政計画</p> <p>1 日本経済の動向</p> <p>2 武蔵野市の財政の状況と課題</p> <p>3 財政計画の策定の方法について</p> <p>4 財政計画(平成24～28年度)</p> <p>5 財政見通し(平成29～33年度)</p> <p>資料</p> <p>策定の流れ</p> <p>第五期基本構想・長期計画策定委員会 委員名簿</p>
---	--	--

4 出された意見

(1) 分野ごとの得票順

無作為抽出市民ワークショップⅢ グループ発表意見

①「健康・福祉」分野

第1位 基本施策3 誰もがいつまでも健康な生活を送るための健康づくりの推進

意見：「子育て中の母親の心身の健康サポートを進めることが虐待予防・子どもの健全な成長につながる。予防接種の負担軽減、訪問相談、医療費は高校まで無料等、一時預かりの充実、気軽な医療相談、予防検診の年齢の拡大、医療の質の向上（メンタルケアの重要性認識）」

説明要旨：子育て期間中の母親の心身の健康サポートを進めることが、虐待予防や子どもの成長につながる。予防接種の負担軽減、訪問相談、医療費は高校まで無料にする、一時預かりの充実、などもやって欲しい。特に医療の場合、身体的な面だけでなく、そこに关わる人達がメンタルケアの部分にもきちんと配慮してやっていただくことが大事である。

第2位 基本施策4(2) 高齢者・障害者の雇用・就労支援

意見：「シルバー人材センターの活用の為、職種を増やし、現役時代の能力を活かせるようにする。又、依頼する側にも、それらが見えるように告知する→履歴書等」

説明要旨：シルバー人材センターがあるが、職種が限られている。職種を増やし、働きたい人が、現役時代の能力を活かせるようなものを見出してほしい。

第2位 基本施策2 誰もが地域で安心して暮らしつづけられる仕組みづくりの推進

意見：「認知症予防を積極的に進めて欲しい。その1つとして高齢者のための働く場を保障して欲しい。（現在では、シルバー人材センターの仕事は“きつい”例えば草取り等）障害児のリハビリ・家族支援を充実して欲しい（質のアップをショートステイ、1時預り等、青年の働き場・発達障害等）、（働きながらも介護できるように）、建築前の十分な検討をしたバリアフリー」

説明要旨：認知症になった後、どこの施設に入所するかという問題もあるが、まずいろんな形で予防をやって欲しい。その一つとして、高齢者の働く場所をぜひ保障して欲しい。現在シルバー人材センターではいろんな人たちが適切な形で働いているかという、仕事としてはきつい草むしりなどもある。いろんな人たちが働けるようにすることが認知症予防につながる。高齢者のための仕事の場として小学生の教室でのサポ

ートや校庭開放などかどうか。それ以外に障害者（児）のためのリハビリや、障害児を抱える家族の支援も充実してほしい。質のアップ、ショートステイ、一時預かり、青年の働く場の保障などいろいろな意見があった。

得票順グループ意見

順位	グループの意見		投票欄
1	基本施策3	誰もがいつまでも健康な生活を送るための健康づくりの推進	11
	子育て中の母親の心身の健康サポートを進めることが虐待予防・子どもの健やかな成長につながる。予防接種の負担軽減、訪問相談、医療費は高校まで無料等、一時預かりの充実、気軽な医療相談、予防検診の年齢の拡大、医療の質の向上（メンタルケアの重要性認識）		
2	基本施策2	誰もが地域で安心して暮らしつつつけられる仕組みづくりの推進	8
	認知症予防を積極的に進めて欲しい。その1つとして高齢者のための働く場を保障して欲しい。（現在では、シルバー人材センターの仕事は“きつい”例えば草取り等）障害児のリハビリ・家族支援を充実して欲しい（質のアップをショートステイ、1時預り等、青年の働き場・発達障害等）、（働きながらも介護できるように）、建築前の十分な検討をしたバリアフリー		
2	基本施策4（2）	高齢者・障害者の雇用・就労支援	8
	シルバー人材センターの活用の為、職種を増やし、現役時代の能力を活かせるようにする。又、依頼する側にも、それらが見えるように告知する→履歴書等		
3	基本施策2（2） （3）	障害児（者）支援、認知症施策	7
	・障害者、認知症の方々の地域との関わり合いは？ →“生かされる”よりも“生きる”生活を 早期発見←コミュニティへの参加など ←文化事業への参加など		
4	基本施策1	支え合いの気持ちをつむぐ	6
	いろいろな年齢層の人々が集まれる場を積極的に進めて欲しい。それを広報して欲しい。例えば、空き教室の利用など地域の掲示板、コミセンだより、地域にいくつもあると便利である。		
4	基本施策1（3）	地域の人とのつながりづくり	6
	地域活動の拠点：コミセンを活動拠点であると同時に、情報拠点の場にしたい。市民任せではなく、もう少し市も運営に関わって欲しい。		
4	基本施策1（3）	地域の人とのつながりづくり	6

	小学校の空いている教室を利用した高齢者と幼児・児童の交流の場所、時間を作る。		
4	基本施策3	健康づくりの推進	6
	身近なところに体育設備 例：コミセンなどに 別枠「市報はつまらない！」		
4	基本施策1(3)	地域の人とのつながりづくり、支え合い	5
	町内会をつくろうよ。 高齢者と子どもが触れ合う場の創出（例えば、空き教室の利用） コミセンの活用		
4	欄外		5
	共通問題として、目標数値の設置が必要だ！！		
5	基本施策2	在宅生活支援のネットワークづくりの推進	4
	在宅の対一介護には、むりがあるので、多種多様な機関を組み合わせるネットワーク作りが必要です。		
5	基本施策3(2)	健康を維持・増進するための施策	4
	・元気な高齢者の社会参加を促進 ・病気になるまいに生き甲斐・達成感への支援活動		
5	基本施策5(2)	サービス基盤の整備	4
	市役所や市の施設の交通の便を充実してほしい。（各施設の設置・充実して欲しい。）		
6	基本施策1(3)	地域の人とのつながりづくり	3
	・小中学校の空き教室の再利用により、高齢者と小中学生のコミュニケーションの場を作る。 ・高齢者や地域の方々に協力してもらい、更に学童を充実させる。		
6	基本施策3	健康づくり	3
	・公共施設だけに限らず民間の活用 ・予防を目的とした検診項目を増やす（高齢者など）		
7	基本施策1(3)	地域の人とのつながりづくり	2
	・市民同士の交流を深めるためには？ →みんなが来れる場づくり ・祭り、ラジオ体操、自転車の講習会など		
8	基本施策2 基本施策5	誰もが地域で安心して暮らしていける仕組みづくり	1
	・公共施設の多様な活用 ・少子化による空き教室の活用（高齢者向け福祉施設、保育施設など）		
8	基本施策2(1)	介護のネットワーク作り	1
	例：糖尿病患者同士の友の会		

8	基本施策3(2) 健康を維持・増進するための施策	1
	コミュニティセンターでの情報の充実 (健康づくりの活動の充実)	
8	基本施策4(1) 高齢者・障害者の活動支援の促進	1
	・障害者が参加しやすいようなコミュニティを作る。一例として、障害児のための親子交流会など ・高齢者とコミュニケーションの方法を増やす。(例)他地域で行われている「黄色の旗」に代わるもの	
8	基本施策4(2) 高齢者・障害者の雇用・就労支援	1
	・生き生きと働くためには? →・教育現場での仕事(教員の補助、用務員、登下校の監視員など) ・公共施設の管理	
8	基本施策5(1) サービスの質の向上	1
	・コミセンの利用価値を高める。例:生活習慣予防・介護予防のためジムマシンを置く。 ・ムーバス運行の再検討 高齢者と障害者に使いやすく!!(大学生と同額で利用でいいのか?) 市役所に行くバスが少ない所が多い	

※グループ意見は自由にまとめられることとしたため、基本施策、施策の番号とタイトルは一致しないものがある。



< 情報提供の様子 >

基本施策、施策ごとの得票数

基本施策	得票数	施策	得票数
1 支え合いの気持ちをつむぐ	28	(1)自発的・主体的な地域福祉活動に向けた啓発	—
		(2)市民が主体となる地域福祉活動の推進	—
		(3)地域の人とのつながりづくり	22
2 誰もが地域で安心して暮らし続けられる仕組みづくりの推進	21	(1)在宅生活支援のネットワークづくりの推進	1
		(2)障害児への支援	7
		(3)認知症高齢者施策の推進	7
		(4)権利擁護事業・成年後見制度の利用促進と現状を踏まえた事業の見直し	—
3 誰もがいつまでも健康な生活を送るための健康づくりの推進	25	(1)予防を重視した健康施策の推進	—
		(2)健康を維持・増進するための施策	5
4 誰もが地域でいきいきと輝けるステージづくり	10	(1)高齢者・障害者の活動支援の促進	1
		(2)高齢者・障害者の雇用・就労支援	9
5 住み慣れた地域での生活を継続するための基盤整備	6	(1)サービスの質向上	1
		(2)サービス基盤の整備	4
その他 共通問題として、目標数値の設置が必要だ！！			5

※基本施策と施策で重複して集計。

②「子ども・教育」分野

第1位 基本施策2（1）子育て支援団体や関連施設とつながる仕組み作りと情報発信の充実

意見：「保育サービス、地域イベント、育児支援、震災対応などの情報をわかりやすく提供してほしい。同じ（一本化された）情報をいろいろな手段・方法で誰にもわかるように工夫してほしい。（共働きの親、市外に通学・通園させている親へのサポート）（知っている人は知っている、知らない人は知らない）」

説明要旨：保育サービス、地域イベント、育児支援、震災対応などの情報をわかりやすく提供してほしい。同じ情報をCATV、むさしのFMなどいろいろな手段を使って、わかりやすく提供していただきたい。共働きの親や、市外に通学・通園させている親は、興味が市の外にあるので、なかなか情報を知ることが難しい。そういった親へのサポートが必要ではないか。また知っている人は知っている、知らない人は知らないという状況が起きているのではないか。特に情報の一元化、一本化をお願いしたい。

第1位 基本施策3（2）豊かな人間性と社会に踏み出す意欲の育成

意見：「実社会への興味・好奇心を呼び起こすための職場体験、学年や障害の有無にとらわれない交流活動、高齢者との交流などを通じて、社会性を身につけていけるようにする。」

説明要旨：ジャンボリーなどいろいろな体験がある（自分も小学校4年生の時から6年生まで行った経験がある）が、それ以外に職場の体験等があった方がいいのではないか。学年や障害の有無にとらわれない交流の活動、高齢者との交流などいろんなことを通じて、社会性を身につけていけるようにしたらどうか。一つ一つの拠点がバラバラになっているので、それらが近づいていくといいのではないか。

第1位 基本施策3（2）子供と高齢者の交流の場をつくる

意見：「1子供が孤立している

2同級生・クラブ活動以外の仲間とつきあうことが大事

- ・「昔の遊び方」を教える（道徳的教育を行う）
- ・ボーイスカウト的な行事を行う
- ・地域での「ラジオ体操」「掃除会」などを行う
- ・地域の高齢者から「現役時代の体験・知識」をやさしく教える機会をつくる
- ・団体行動を理解させる
- ・体育指導（鉄棒・体操）を行う」

説明要旨：市民の中でも子どもが孤立しているのではないか。同級生、塾、クラ

ブ活動以外の仲間と付き合う機会がないのではないかと。そこを問題意識とした。子どもは財産なので、中高年が子どもの教育に対して応援する場を作って欲しい。例えば、昔の遊び方を教える中で道徳的な教育を行うとか、ボーイスカウト的な行事を行って、その中で団体的活動を身につけるとか、地域でラジオ体操や道路の掃除、廃品回収などをやっていく中で地域を高めていく。サラリーマンのOBはたくさんおり、高い専門知識を持った人もいるので、そういった方が優しく講話する機会を設けるなどして団体活動を行ってはどうか。体育は大事なので、鉄棒など、我々の知っている世界、できる世界で教えるので、我々中高年も参加して地域で子どもを育てをしましょう。

第1位 子どもを産みやすい環境の整備

意見：「・不妊治療の助成

・産院の充実」

説明要旨：不妊治療の助成、産院の充実が必要ではないか。その他、子育てネットのホームページの内容の充実も必要である。

得票順グループ意見

順位	グループの意見		投票欄
1	基本施策2(1)	子育て支援団体や関連施設とつながる仕組み作りと情報発信の充実	9
	保育サービス、地域イベント、育児支援、震災対応などの情報をわかりやすく提供してほしい。同じ（一本化された）情報をいろいろな手段・方法で誰にもわかるように工夫してほしい。（共働きの親、市外に通学・通園させている親へのサポート）（知っている人は知っている、知らない人は知らない）		
1	基本施策3(2)	豊かな人間性と社会に踏み出す意欲の育成	9
	実社会への興味・好奇心を呼び起こすための職場体験、学年や障害の有無にとらわれない交流・活動、高齢者との交流などを通じて、社会性を身につけていけるようにする。		
1	基本施策3(2)	子供と高齢者の交流の場をつくる	9
	1. 子供が孤立している 2. 同級生・クラブ活動以外の仲間とつきあうことが大事 ・「昔の遊び方」を教える（道徳的教育を行う） ・ボーイスカウト的な行事を行う ・地域での「ラジオ体操」「掃除会」などを行う ・地域の高齢者から「現役時代の体験・知識」をやさしく教える機会をつくる		

	<ul style="list-style-type: none"> ・団体行動を理解させる ・体育指導（鉄棒・体操）を行う 	
1	<p style="text-align: center;">子どもを産みやすい環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療の助成 ・産院の充実 	9
2	<p>基本施策1(2) 子ども・子育て家庭へのセーフティネット</p> <p>セーフティネットを虐待・いじめにも広げる (虐待・イジメへのセーフティネット) (モンスターペアレンツにおびえる先生⇨子供や親にもっと強く接して) (虐待・いじめが書いてない?)</p>	7
2	<p>基本施策5(6) 学校教育のあり方の検討</p> <p>学校教育の問題は家庭(家族)の問題であり、地域の問題でもある(学校・家庭・地域の三位一体) (学校も教育力は十分か)</p>	7
3	<p>基本施策2(1) 子育て支援情報発信の充実</p> <p>①子育て中の母親が孤独にならない様に、市は情報発信を積極的に進める ②子育て支援情報を一本化し、専用窓口を設ける ③情報発信手段の多様化(市のHPの充実、市報に専用ページ、CATV、むさしのFM等)</p>	5
3	<p>基本施策3(1) 小学生の放課後施策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつでも気軽に体を動かすことができる場と環境が市内にたくさんあると良い。体力向上につながる ・安心して動ける場 ・子ども達自身が作るルール 	5
3	<p>基本施策4 子ども・子育て家庭を支援する体制・施設の整備</p> <p>①施設でかかる経費が高い割には設備が不十分なものがある(公園にトイレがないなど) ②様々な施設があるが、内容がわからない。自由に見学が出来るシステムがあると良い。(あそべえ、0123など) ③情報発信の充実が具体化されていない</p>	5
3	<p>基本施策4(1) 子ども協会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども協会の体質は?市民にきちんと説明してほしい (子ども協会は何なのか?市の事業を委託する前にきちんと説明してほしい)(子ども協会がよくわからない。どうして市の子育て関連事業を子ども協会に移行する必要があるのか)(保育園民営化)(0123運営費について、びっくりしました)(0123そんなにお金かかるのですか)(内訳1億4104万。場所) ・0123の運営費の内訳はどうなっているのか? 	5
4	<p>基本施策1(3) 保育サービスの充実</p>	4

	①気軽に子供を預けられる施設の充実 ②テンミリオンハウスの土日活用 ③4歳児5歳児対象のサービス ④小学校の空室活用 ※既存の施設を上手に活用	
4	基本施策2(2) 共助の仕組み作り 地域・世代間交流により、育児を支える。(地域のコミュニティーと子育て支援)	4
4	基本施策3(1) 小学生の放課後施策の充実 放課後の子ども達の居場所・活動目標などの目安となる拠点の整備・充実が求められる→ふらふらな子どもをなくそう	4
5	基本施策1(1) 子育て支援について ・子育て応援券を作ってほしい(子育て関連施設で利用) (利用したいときに利用できる一時預かりの充実)(一時保育。買い物の間とか)(ひまわりママ?) ・一時保育の充実	3
5	基本施策2(2) 共助の仕組み作り 高齢者と子供を結びつける場の提供 (高齢者と子供の見守り→良いしくみができないか)(子供を近所の高齢者に見て欲しい)(特養老人ホームと子供を預かる施設をセットに。有効な運用・運営を。)	3
5	基本施策3(1) 小学校の放課後施策の充実 あそべえ、コミセン、児童館の使い方をわかりやすく、誰でも使えるように。(子供を安心して遊ばせたい。安心して通学させたい)	3
6	基本施策2 地域社会全体の連携による子ども・子育て支援の充実 ①子供たちの遊び場がない ②授業についていけない子達への補習を行う場が必要 ③年輩者の特技を子供に教えるなど、交流する場が少ない	2
6	・産みやすい環境を ・子供を守れるシステム作り ・防犯、犯罪 ・職業教育を増やす ・私立と市立への接点 ・学校と地域	2
7	基本施策4(2) 保育園の充実化 1. 予算を増やし、数と中身を充実する 2. 働くお母さんを支援する	1

8	基本施策5(6) 少子化に対応した学校教育のあり方	0
	①市の教育として特徴あるものをクローズアップ（セカンドステイ、ホームステイ） ②国公立や私立の中学校に流れない様に質の高い教育	

※グループ意見は自由にまとめられることとしたため、基本施策、施策の番号とタイトルは一致しないものがある。

基本施策、施策ごとの得票数

基本施策	得票数	施策	得票数
1 子ども自身の育ちと子育て家庭への総合的支援	14	(1) 一人ひとりの子ども、それぞれの家庭への支援の充実	3
		(2) 子ども・子育て家庭へのセーフティネットの充実	7
		(3) 保育サービスの充実	4
2 地域社会全体の連携による子ども・子育て支援の充実	23	(1) 子育て支援団体や関連施設とつながる仕組みづくりと情報発信の充実	14
		(2) 共助の仕組みづくり	7
3 青少年の成長・自立への支援	30	(1) 小学生の放課後施策の充実	12
		(2) 豊かな人間性と社会に踏み出す意欲の育成	18
		(3) 地域活動への積極的な参画支援	—
4 子ども・子育て家庭を支援する体制・施設の整備	11	(1) 子育て支援実施体制の整備	5
		(2) 子育て支援施設の整備	1
5 次代を担う力をはぐくむ学校教育	7	(1) 確かな学力と個性の伸長	—
		(2) 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進	—
		(3) 学校と地域との協働体制の充実	—
		(4) 特別支援教育・教育相談の充実	—
		(5) 学校・教員支援体制の充実	—
		(6) 少子化に対応した学校教育のあり方の検討	7
		(7) 教育環境の整備、計画的な学校整備・改築の推進	—
その他 子どもを産みやすい環境の整備			9
タイトルなし			2

※基本施策と施策で重複して集計。

③「文化・市民生活」分野

第1位 基本施策1(1)インフォメーションセンターの設置

意見：「・スポーツや音楽、英会話など市民が交流できる情報を登録したり紹介したりできる窓口、施設を駅の近くなど便利な場所に設置してほしい。

・例えばサッカーや野球またロックやフォーク、コーラス等自分の好きな趣味を登録し仲間との交流ができるしくみを作る。」

説明要旨：スポーツや音楽、英会話など市民が交流できる情報を登録したり紹介したりできる窓口、施設を駅周辺の便利な場所に設置してほしい。サッカーや野球、ロックやフォーク、コーラス等自分の好きな趣味を登録すると、同じように登録した仲間と交流できるような仕組みがあるといい。これらを市役所で総括して、駅の近くにインフォメーションセンターを設置してほしい。

第2位 基本施策4(1)生涯学習機会の拡充

意見：「①図書館、大学、企業等が連携して学習機会を創出する。

②地域の文化人や退職者の経験を活かす

→魅力的な学習機会の創出」

説明要旨：図書館、大学、企業、研究機関等様々な主体が連携して体系的な学習機会を創出するといいいのではないか。武蔵野市には、大学の教授から、演奏家、芸術家まで多くの方が住んでいるので、生涯学習には退職者の経験や武蔵野市にいる多くの文化人をもっと活用していくべき。

第3位 基本施策7(1)防災態勢の強化

意見：「・一人暮らしのお年寄りを見守るために、いざというときに頼りになるのは地域のネットワークである。

・放射能の器具の貸し出し」

説明要旨：一人暮らしのお年寄りを見守るためには日常からの地域の目、絆が大切である。いざという時に頼りになるのは地域のネットワークなので、これを育てたい。これからの時代を担う子どもたちを守るためには放射能について見守る必要がある。放射能器具を貸し出すなどして自分達でも計測できるようにして欲しい。学校では校庭の真ん中で計測するのではなく、端の方で計測した方がいい。

第3位 基本施策5(2)商業の活性化

意見：「・吉祥寺駅周辺の施設増加、観光客、子供連れの方々にも使いやすくする。

・集客力のある商業施設の誘致。シネコン、ショッピングセンタ

一等。

・ムーバスと主要施設とつなげる。」

説明要旨：若者が来るような施設がない。吉祥寺駅を中心に映画館やショッピングセンターなどを誘致して集客できる街になるとよい。ムーバスと主要施設をつなげて移動をもっと便利にすれば活性化につながるのではないか。

得票順グループ意見

順位	グループの意見	投票欄
1	基本施策1(1) インフォメーションセンターの設置 ・スポーツや音楽、英会話など市民が交流できる情報を登録したり紹介したりできる窓口、施設を駅の近くなど便利な場所に設置してほしい。 ・例えばサッカーや野球またロックやフォーク、コーラス等自分の好きな趣味を登録し仲間との交流ができるしくみを作る。	17
	基本施策4(1) 生涯学習機会の拡充 ①図書館、大学、企業等が連携して学習機会を創出する。 ②地域の文化人や退職者の経験を活かす →魅力的な学習機会の創出	
3	基本施策5(2) 商業の活性化 ・吉祥寺駅周辺の施設増加、観光客、子供連れの方々にも使いやすくする。 ・集客力のある商業施設の誘致。シネコン、ショッピングセンター等。 ・ムーバスと主要施設とつなげる。	10
	基本施策7(1) 防災態勢の強化 ・一人暮らしのお年寄りを見守るために、いざというときに頼りになるのは地域のネットワークである。 ・放射能の器具の貸し出し	
4	基本施策7(1) 防災態勢の強化 ・災害時の連絡手段・オンタイムの媒体充実 ・被害状況の公開→ハザードマップ(地域ごとの詳細)	7
	基本施策1 ムーバスの充実を ・コミセンや市役所、図書館、子どもの遊べる0123などをまわる路線があればそれぞれの施設が使いやすい。 ・ムーバスを増やすことで自転車を減らす。 ・夜遅くまで運行時間の延長を！！	
5	基本施策3(3) 文化施設の再整備 保育施設、老人健康施設(養老院)の拡充	6

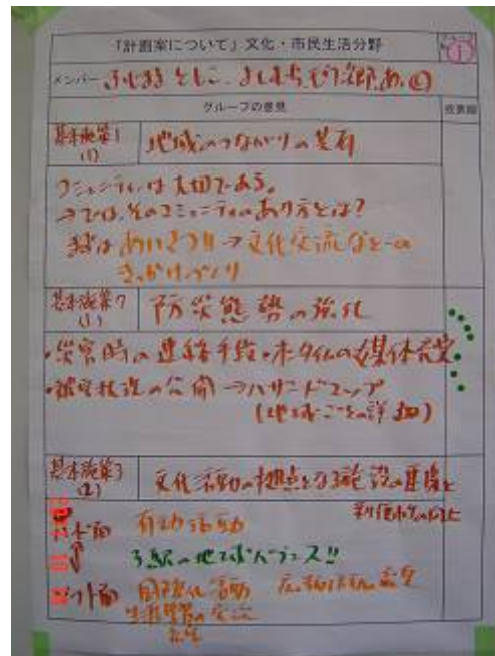
6	基本施策 1 (1)	地域のつながりの共有	5
		・グループへの帰属意識をつくろう ・世代間の交流	
6	基本施策 1 (1)	地域のつながりの共有	5
		コミセンの活用 市民コンシェルジュ	
6	基本施策 4 (1)	生涯学習機会の拡充	5
		武蔵野市内に在住の人材を活用し、ソフト面での内容の充実、各種講座の開講を実施する。またスポーツや農業体験などの活動ができるハード面での環境整備を推進する。	
7	全体	情報発信	4
		①コミセンの使い方が分からなくて使いにくい ②生涯学習の情報が少なく参加できない ③災害時の情報がうまく伝わらない →情報をもっとうまく発信すれば今ある施設や事業をもっと有効に活用できる。	
7	基本施策 7	災害への備えの拡充	4
		・地域で助け合いやすい環境づくり ・情報を早く正確に行う体制づくり ・防災についての市民への地域活動への学びの場	
8	基本施策 3 (4)	魅力ある都市文化の発信と都市観光の推進	3
		当市の文化人（アニメ、漫画、ライブ等）の展示、演奏 外国人が魅力を感じる都市作り。	
9	基本施策 1 (1)	地域の核となるコミセン作り	2
		コミュニティセンターの活動や役割が詳しくわからない。イメージしづらいという意見がある。広報活動を充実させるにはインフォメーションセンターを設置などを行う。	
10	基本施策 1 (1)	地域社会と地域活動の活性化	1
	(2)	①若い人の地域活動への参加 ②世代間を越えた取組み →コミセンを中心とした市民のコミュニティ作り	
10	基本施策 1 (1)	コミセンをもっと使いやすく	1
		・利用方法の統一、活動内容の周知、利用者の年代が幅広くなると良い。 ・エレベーターを設置してほしい。 ・リタイアした世代の方々が現役世代に何かを教えられると良い。	
10	基本施策 1 (1)	地域のつながりの共有	1

	コミュニティセンターの有効活用 ・情報共有（何処で何をやっているのか） ・ソフトの充実 ・中間層のニーズに応える	
11	基本施策 1 (1) 地域のつながりの共有 コミュニティは大切である。→ではそのコミュニティのあり方とは？ まずはあいさつ！！文化交流などのきっかけづくり	○
11	基本施策 1 (2) 地域活動の活性化 得意分野を発揮する場をつくる	○
11	基本施策 3 (2) 文化活動の拠点となる施設の連携と利便性の向上 ハード面 有効活用 3 駅の地域バランス！！ ⇔ソフト面 国際化活動・・・広報活動の充実生涯学習の交流、充実	○
11	基本施策 7 (1) 防災態勢の強化 ・防災無線が聞こえない。ホワイトイーグル等の活用をする。 ・防災準備を強化させる。市の備蓄の拡充。 ・コミュニティセンターを防災に有効活用する。	○

※グループ意見は自由にまとめられることとしたため、基本施策、施策の番号とタイトルは一致しないものがある。



<作業シート>



<発表シート>

基本施策、施策ごとの得票数

基本施策	得票数	施策	得票数
1 地域社会と地域活動の活性化	38	(1)地域のつながりの共有	32
		(2)地域活動の活性化	1
2 互いに尊重し認め合う社会の構築	-	(1)一人ひとりが尊重される社会の構築	-
		(2)男女共同参画計画の推進	-
		(3)平和施策の推進	-
3 市民文化の醸成	9	(1)市民の文化活動への支援	-
		(2)文化活動の拠点となる施設の連携と利便性の向上	-
		(3)文化施設の再整備	6
		(4)魅力ある都市文化の発信と都市観光の推進	3
4 市民の多様な学びやスポーツ活動への支援	17	(1)生涯学習機会の拡充	17
		(2)スポーツの振興	-
		(3)図書館サービスの充実	-
5 地域の特性を活かした産業の振興	10	(1)産業振興に関する方針の策定	-
		(2)商業の活性化	10
		(3)都市型産業の育成	-
		(4)事業者支援・セーフティネットの充実	-
		(5)都市農業の振興と農地の保全	-
6 都市・国際交流の推進	-	(1)交流事業の多様化の検討	-
		(2)市内に在住する外国人等への日常生活支援	-
7 災害への備えの拡充	21	(1)防災体制の強化	17
		(2)災害に備えた都市基盤の整備	-
		(3)住宅の耐震化の促進	-
8 多様な危機への対応の強化	-	(1)防犯力の向上	-
		(2)新しい危機への体制の整備	-
		(3)消費者の権利の擁護と自立の支援	-
その他 情報発信			4

※基本施策と施策で重複して集計。

④「緑・環境」分野

第1位 基本施策5（1）都市化の進展や社会情勢の変化に伴う新たな環境問題への対応

意見：「・原発事故に対する調査等について、もっと創意工夫してほしい。

- ・ホットスポットを見つけるには市だけで十分対応できない（人・金）ので、市民・団体（PTA・NPO）にガイガーカウンター（線量計）を貸し出し、報告させる。」

説明要旨：原発事故に関して、市だけでホットスポットを見つけるのは大変なので、線量計（ガイガーカウンター）等を市民や団体、PTA、NPO に貸して、みんなで量って調査してはどうか。

第2位 基本施策2（1）環境に配慮したまちづくりの推進

意見：「・自転車専用ロードの拡充

- ・駅前駐輪場対策
- ・安全ルールの啓蒙
- ・対策課の新設」

説明要旨：かなり自転車が多い街である。歩道が狭く歩きづらく、後ろから自転車が来てしまっていて危ないので、自転車専用ロードをもう少し広げて欲しい。駅前の駐輪場がかなり少なく、道にとめてあるのが目立つので、駐輪場を増やしてほしい。無灯火や二人乗りなどが目につくので、安全ルールの啓蒙をして欲しい。自転車に関する対策課を作って、自転車についてはそこに行ったらわかるというふうになるといいのではないか。

第3位 基本施策3・2・1 目的意識のある公園造り

意見：「・植樹のみならず、後の手入れなどよく整備して！剪定もしてね！蚊が多いの～！

- ・遊具が少ない！
- ・街路樹もちゃんと整備・増樹してほしい。」

説明要旨：近所に公園がたくさんあるので、夏前、子どもに公園へ行って遊ぶよう言くと、木がボウボウで蚊がすごいという。どの公園についてもみんながみんな言う。夏はいつ行っても公園には誰もいない。木を植えるだけでなく、手入れが必要。広い公園になると、子どもたちはキャッチボールやサッカーができるって思うが、持って行くと禁止だと言われてしまう。だっ広い緑があるだけで、公園の機能を果たしていない。またケヤキ並木、桜並木があるが、古いので、太く、倒れ掛かっているものもある。市の職員が見て、危ない木があったら早めに伐採してほしい。

得票順グループ意見

順位	グループの意見		投票欄
1	基本施策5(1)	都市化の進展や社会情勢の変化に伴う新たな環境問題への対応	11
	<ul style="list-style-type: none"> ・原発事故に対する調査等について、もっと創意工夫してほしい。 ・ホットスポットを見つけるには市だけで十分対応できない(人・金)ので、市民・団体(PTA・NPO)にガイガーカウンター(線量計)を貸し出し、報告させる。 		
2	基本施策2(1)	環境に配慮したまちづくりの推進	9
	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車専用ロードの拡充 ・駅前駐輪場対策 ・安全ルールの啓蒙 ・対策課の新設 		
3	基本施策3・2・1	目的意識のある公園造り	8
	<ul style="list-style-type: none"> ・植樹のみならず、後の手入れなどよく整備して！剪定もしてね！蚊が多いの～！ ・遊具が少ない！ ・街路樹もちゃんと整備・増樹してほしい。 		
4	基本施策2	欅並木(成蹊大脇)の管理と美化を市で！	7
	<p>現状において、景観的にも非常に重要な並木道であるが、管理が住民まかせで住んでいる人の清掃がとても大変。もっと美しく保つためにも市でも計画的な管理を行ってほしい。</p>		
4	基本施策3(1)	緑の保全と創出	7
	<ul style="list-style-type: none"> ①住宅内にある小さな公園(夜の公園が怖い) ②利用しにくい小さな公園が多い ③市は市民に利用してもらえる公園を作るべき <p>。同じような公園ではなく、目的別の公園を作ってほしい。個性のある公園、利用者が多い公園を作る。(単に公園を作る、緑を増やすのではなく)</p>		
5	基本施策1(2)	市民・事業者による自発的主体的な行動の促進	6
	<ul style="list-style-type: none"> ①市民意識を変えるためのイベントをもっと設ける(リサイクル大賞、リユース大賞) ②ゴミ排出抑制の優良な取り組みを実施している企業・商店等に助成金・表彰をする(市はもっとPRすべき) ③マナーを守らない大人が環境をこわす(子供の頃からの教育が必要) ④家庭ゴミの出し方は注意をうながす上で、良いアイデア←市は常に良いアイデアをつのるべき 		

5	基本施策2、5	歩道をもっと歩きやすく	電線（電柱）は美観もそこねるし、じゃまなので地下に埋めてほしい。歩道の幅を広く、街路樹の整備、自転車と歩行者の分離をしてもらわないと、老人や子供が安心して歩けない。 （自然エネルギー、太陽光発電の助成 etc）（クリーンセンターについて市民をもっとまきこんで決定を）	6
5	基本施策3（1）	緑の保全と創出	単に緑を増やすのではなく、適切なメンテナンスが必要。（落葉対策、古木対策など）管理責任の明確化。行動の緑化に対する適切な規制。関係自治体や団体との協力体制づくり。	6
5	基本施策3（1）	緑の保全と創出	・相続・世代交代で失われる老木・大木の保護 ・落葉の対策 ・緑のカーテンの普及 ・害虫・害獣（ネズミ）の対策	6
6	基本施策2（2）	公共施設における環境負荷軽減施策の推進	太陽光発電の推進 ・設備増強（公共） ・自家・地域発電への助成⇒初期費用が高い！	5
6	基本施策4（1）	ごみ発生・排出抑制の徹底と資源化の推進	・リサイクル大賞などでの削減への啓蒙を！ ・冊子などで分別方法をくわしくわかりやすくリマインドしてほしい。	5
6	基本施策4（1） （2）	循環型社会システムづくりの推進	・クリーンセンター周辺の環境の整備をよくする ・市民全体への情報共有を徹底する ・再生ゴミのゆくえ…本当に再生されているのか？どこまで？どれくらい？	5
7	基本施策3（1） （2）（3）	環境保全	・民有地の緑への助成を！個人で手入れはお金も力も必要なのです！ ・公共施設のグリーンカーテンでの緑化	4
7	基本施策5	生活をとりまく様々な環境の変化に伴う新たな問題への対応	ムーバスの電気バス化など、公共施設のエコ化。アイドリングストップを行政として進める。現在金食い虫になっている省エネ化の動向を見ずえて導入について適切な時期を見極める。太陽光発電などのエコなエネルギー化の推進。CO2削減を市民みんなが考え実行するしくみ。	4

8	基本施策3(1)	「緑」を基軸としたまちづくりの推進	2
	(2)		
		・公園、街路樹、散策路の整備と安全をはかり使いやすくする。 ・緑化に対する補助を行う。	
8	基本施策4(1)	ごみ発生・排出抑制の徹底と資源化の推進	2
		・分別の徹底・PR ・生ゴミのたい肥化 ・粗大ゴミのリサイクル	
9	基本施策2(2)	公共施設における環境負荷軽減施策の推進	1
		・太陽光発電の設置の援助をわかりやすく説明する ・小規模水力発電など、水に恵まれた環境の活用を実施してPRする	
9	基本施策4(1)	ごみ発生・排出抑制の徹底と資源化の推進	1
		ゴミ総量削減、リサイクルを各家庭・事業所でとりくむよう啓もうをしていく。続ける。脱ワースト3!	
9	基本施策5(1)	生活を取り巻く様々な環境の変化にともなう新たな問題への対応	1
		・環境汚染や放射能汚染に情報と測定を徹底する ・住民知りたい情報をすい上げるネットワークをつくる	
10	基本施策3	目的意識のある公園へ変えて欲しい	0
		小さくて利用者のほとんどいない公園への予算を減らしてでも、大きくて目的意識のある公園に。トイレは必須。老人の憩いの場となるように、大きなシンボルツリーとベンチですずしくすごせる公園。子供用のちゃんとした遊び場が整備されたもの(交通公園なども)に変えて欲しい。	
10	基本施策4(1)	ごみ発生・排出抑制の徹底と資源化の推進	0
		・事業者ごみの対策強化⇒市民生活にも影響 ・学校教育でもごみについて扱い、啓蒙していく ・ネコ、ネズミ、カラス等への対策	

※グループ意見は自由にまとめられることとしたため、基本施策、施策の番号とタイトルは一致しないものがある。

基本施策、施策ごとの得票数

基本施策	得票数	施策	得票数
1 緑・環境都市形成に向けた市民の自発的・主体的な行動を促す支援	1 4	(1)緑・環境に関する意識の醸成	—
		(2)市民・事業者による自発的・主体的な行動の促進	6
2 市の環境配慮行動の推進	3 6	(1)環境に配慮したまちづくりの推進	9
		(2)公共施設における環境負荷軽減施策の推進	6
3 「緑」を基軸としたまちづくりの推進	3 3	(1)緑の保全と創出	2 5
		(2)緑の水のネットワークの推進	6
		(3)広域の緑の保護・育成	4
4 循環型社会システムづくりの推進	1 3	(1)ごみ発生・排出抑制の徹底と資源化の推進	1 3
		(2)新クリーンセンター建設と安全で効率的なごみ処理の推進	5
5 生活を取り巻く様々な環境の変化に伴う新たな問題への対応	2 2	(1)都市化の進展や社会情勢の変化に伴う新たな環境問題への対応	1 2
		(2)生活形態の多様化や価値観の変化に伴う生活環境問題への対応	—

※基本施策と施策で重複して集計。



<発表の様子>

⑤「都市基盤」分野

第1位 基本施策1(3)土地利用の計画的誘導

意見：「・さら地になっている市有地を有効活用
→市民農園のスペースとして利用
狭い土地であれば防災倉庫として利用
子どもの遊べるスペース」

説明要旨：更地になっている市有地がたくさんあるが、人気のある市民農園として利用してはどうか。また狭くて市民農園にも利用できないような土地は、防災倉庫として利用したり、遊具は置かなくてよいので、子どもが遊べるスペースとして、更地のままでボール等で遊べるスペースにしてはどうか。

第1位 基本施策3(5)駐輪場の整備

意見：「・利用者数に対し、依然少ない。空間・空地利用や民間企業との提携も検討してほしい。
・放置自転車の処理にかかるコストを新規駐輪場運営に充てるべき。」

説明要旨：利用者数に比較して、依然駐輪場の数が少ない。空間や空き地を有効利用することや、民間企業、銀行やオフィスなど土日に利用が少ない空間を活用できるよう提携を検討してほしい。放置自転車の処理に1億7700万円かけているが、駐輪場の管理の金額の約60%なのはかかり過ぎではないか。こういう経費を圧縮して、例えば半分を駐輪場を広げることに使えば、放置自転車は自然と解消されるのではないか。

第2位 基本施策3(5)自転車利用環境の整備

意見：「・駅の近くに地下駐輪場をつくる
・出来る限り自転車専用道路をつくる
・自転車で走りやすくするために電柱の地中化」

説明要旨：駐輪場は駅の近くにないと意味がないので、駅の近くに地下駐輪場をつくる。狭い道で歩行者が恐怖感を感じてしまうような街は住みよい街ではないと思うので、できる限り自転車専用道路を作って自転車と歩行者の道を分けてはどうか。費用はかかるができるだけ電線を地中化すべきではないか。

得票順グループ意見

順位	グループの意見	投票欄
1	基本施策1(3) 土地利用の計画的誘導	11
	・さら地になっている市有地を有効活用	

	→市民農園のスペースとして利用 狭い土地であれば防災倉庫として利用 子どもの遊べるスペース	
1	基本施策3(5) 駐輪場の整備 ・利用者数に対し、依然少ない。空間・空地利用や民間企業との提携も検討してほしい。 ・放置自転車の処理にかかるコストを新規駐輪場運営に充てるべき。	11
2	基本施策3(5) 自転車利用環境の整備 ・駅の近くに地下駐輪場をつくる ・出来る限り自転車専用道路をつくる ・自転車で走りやすくするために電柱の地中化	10
3	基本施策3(2)(3) 利用者の視点を重視した安全で円滑な交通環境の整備 ・スムーズな交通をさまたげている隅切整備の促進、すべてに優先してバリアフリーを推進する ・吉祥寺の公園にいける地下道の新設か道路網の整備 ・小さな公園が多過ぎる、又公衆トイレが少ない	7
3	基本施策7 三駅周辺まちづくりの推進 ・吉祥寺駅南口の再開発 ・駅周辺回遊性の向上 e.g.井の頭公園との連携 e.g.三鷹駅北口 ・土地の高度活用 e.g.三鷹駅北口のパチンコ屋をなんとかしてほしい →上水の遊歩道の整備（風の遊歩道を見習う）	7
4	基本施策3(4) 公共交通機関の利用促進 ・各公共施設や場所へのアクセス強化。 ・ムーバスの路線を増やす。路線図を手に入りやすくしてほしい。	6
5	基本施策3(1)(4)(5) バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくりの推進/公共交通機関の利用促進/自転車利用環境の整備 ・駐輪場の不足を解消してください。 ・自転車道路を作って欲しい。 ・レンタサイクルを三駅間で賃借可能に。 ・ムーバスの拡充化。時間（運営）と路線を。	5
5	基本施策3(5) 自転車利用環境の整備と交通ルール・マナーの啓蒙 ・駐輪場が場所がわかりにくい。→駅の近くに多くの自転車が収容できると良い。 ⇒地下駐輪場を作って！！ ⇒放置自転車の減少・撤去にかかる費用の削減	5

	<ul style="list-style-type: none"> ・マナー講習 ・自転車レーンの増設→電線の地中化 		
6	基本施策2(1) 1(3)	空き地・空き家の有効活用 点在する空地・空家の有効活用 公園、防災用トイレ、子育て施設、福祉施設	4
6	基本施策3(4)	公共交通機関の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・本来ムーバス設置の意義を考え直す。老人と通勤者との分別。時間、料金。 ・ムーバスの利用者のネットワークの再考 	4
6	基本施策5(2)	下水を中心とした施設の抜本的改革 中水(雨水)の活用など水処理施設の市での自己処理	4
7	基本施策1	住みやすい街づくり ①自然との共生…遊歩道が少ない→もっと整備して欲しい ②景観条例の整備	3
7	基本施策3(5)	駅周辺の自転車駐輪場の拡充 利用者の数に対し駐輪場の数が不足している。	3
8	基本施策3(5)	自転車利用環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・自転車専用レーンの拡充 e.g.井の頭通りを一車線にして残りを専用レーンに! ・フリーレンタサイクル ・電柱の地中化→狭い道にも自転車レーンを作れる ・自転車削減のため、ムーバスを含めたバス路線の強化 	2
8	基本施策4(1)	自転車専用道路の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・かえで通り(理想的!)のような専用道路を拡充してほしい。 ・歩行者・自転車運転者共に危険。双方のマナー向上も重要。 	2
8	基本施策4(1)	生活道路の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・五日市街道の幅を広げて欲しい ・ムーバスの道路が狭い。雨の日傘差し自転車とのすれ違い難しい ・年度末に予算を使うためのかけこみ道路工事が多く見られるので予算を減らして頂きたい ・回遊できるような道路の整備 ・緑道化、市道に関して、役所前通りの様に樹々を植える ・スムーズな交通をさまたげる隅切りの促進 ・車イスにやさしい道路整備を! ・道路を広くとるために電柱・電線の地中化 ・道路の段差を無くすバリアフリー ・吉祥寺の街は歩行者(障害者)が最優先とし、自転車自動車が調和 	2

	協調するようにして下さい		
8	基本施策7(1)	三駅周辺まちづくりの推進	2
	<ul style="list-style-type: none"> ・吉祥寺駅南口の人通りを良くする。 ・吉祥寺駅近辺に駐輪場を作って欲しい。 ・季節毎のおまつり行事などで活性化を。 		
8	基本施策8	安全でおいしい水の安定供給	2
	<ul style="list-style-type: none"> ・都営一元化のメリット・デメリットを要検討 ・武蔵野のおいしい水のPR活動 ・ゲリラ豪雨対策としての下水循環システムの整備 		
9	基本施策1(3)	土地利用の計画的誘導	0
	<ul style="list-style-type: none"> ・避難用地の災害時に備えて簡易トイレ等を増やして欲しい ・災害に強い街づくり→緑化 ・防災訓練 ・災害時(火事)などの際のカンショウ地となるために、公園を作って(増やして)ください ・児童館を中・東部にも作ってほしい ・小中学生がボールを使って遊べる公園を増やしてほしい ・広々とボール遊べる公園を増やして欲しい ・小さな公園にもトイレを設置していただきたい(子供を遊ばせにくい) ・空き家の利用、土地利用に関して地産地消を進めるために農地を増やして頂きたい ・せっかく地下水の良い水を使っているのに、水道から出る水が非常に塩素臭い。塩素を減らして頂きたい。 		
9	基本施策3	利用者の視点を重視した安全で円滑な交通環境の整備	0
	<ul style="list-style-type: none"> ・ムーバスの逆循環をつくる ・夜遅くまでの運行時間の拡大及び本数の拡大 		
9	基本施策3(5)	自転車利用環境の整備と交通マナーの啓発	0
	<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場の利便性 ・駐輪場の立体化 ・駐輪場の使い勝手 ・放置自転車のその後 ・利用者マナー 		

※グループ意見は自由にまとめられることとしたため、基本施策、施策の番号とタイトルは一致しないものがある。

基本施策、施策ごとの得票数

基本施策	得票数	施策	得票数
1 地域の特性に合ったまちづくりの推進	18	(1)参加と計画によるまちづくりの展開	—
		(2)まちのビジョンの共有化	—
		(3)土地利用の計画的誘導	15
		(4)調和のとれた都市景観の形成	—
2 都市基盤の更新	4	(1)都市基盤の再構築と運用管理	4
		(2)広域連携、市民等との協働による道路等の管理	—
		(3)施設の適正な維持管理、安全対策の推進	—
3 利用者の視点を重視した安全で円滑な交通環境の整備	53	(1)バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	5
		(2)歩いて楽しいまちづくりの推進	7
		(3)移動手段の分散化と交通環境の整備	7
		(4)公共交通機関の利用促進	15
		(5)自転車利用環境の整備と交通ルール・マナーの啓発	36
4 道路ネットワークの整備	4	(1)生活道路の整備	4
		(2)都市計画道路ネットワーク整備の推進	—
		(3)外環への対応	—
5 下水道の再整備	4	(1)下水道経営の健全化	—
		(2)下水道総合計画の推進	4
		(3)下水道臭気対策の推進	—
		(4)新たな水循環システム確立と水害対策の推進	—
6 住宅施策の総合的な取組	—	(1)計画的な住宅施策の推進	—
		(2)多様な世代・世帯に適應する住まいづくり	—
		(3)良質な住まいづくりへの支援	—
7 三駅周辺まちづくりの推進	9	(1)吉祥寺地区	2
		(2)中央地区	—

		(3)武蔵境地区	—
8 安全でおいしい水の安定供給	2	(1)おいしい水の供給	—
		(2)経営の効率化	—
		(3)水道施設の整備と災害時の安定供給	—
		(4)都営一元化へ向けた検討	—

※ 基本施策と施策で重複して集計。



<話し合いの様子>



⑥「行・財政」分野

第1位 基本施策5健全な財政運営の維持

意見：「市民税の税率を下げる」

説明要旨：市民税は23区も市も一律だが、武蔵野市は裕福だと言われているので、1%でも2%でも下げてみてはどうか。市の財政が悪化するのか、安いことを理由に他市から転入が増えるのかわからないが、やってみてはどうか。

第2位 わかりやすい情報公開

意見：「・市有財産の経費だけでなく収支を提示

・歳入・歳出の内訳も市民にもっとわかり易く」

説明要旨：今日もらった資料が非常にわかりにくい。市有財産について無駄なのかどうか議論する時には、普通は収入があつて支出があつて、プラス・マイナスがどうなっているのかを見ないと、「これは無駄だぞ、全部なくせ」という資料にしか見えない。歳入・歳出の内訳も、民生費・総務費などあるが、普通の人聞いてもわからない。こういったことをもっとわかりやすくしないと、いくら情報提供を市報等でやっても最終的に届かない。市民にもわかりやすいようにしてほしい。

第3位 具体的な歳入確保施策

意見：「・コミセン等で利用料を徴収する

・市の行事も有料で実施

（・人件費カット）」

説明要旨：コミセンは無料で行われているが、他の区などではお金を取っている。塵も積もれば山となるなので、高額でなくても取った方がいいのではないか。また、参加費が安かったり、いろんな催事がお弁当付きで無料だったりする。利用している人はいいが、その人達でも「楽しい催事だから無料じゃなくて少しぐらい払ってもいいんだけど」という声もある。こういうことも考えてもらいたい。

得票順グループ意見

順位	グループの意見		投票欄
1	基本施策5	健全な財政運営の維持	11
	市民税の税率を下げる		
2		わかりやすい情報公開	10
	・市有財産の経費だけでなく収支を提示 ・歳入・歳出の内訳も市民にもっとわかり易く		

3	具体的な歳入確保施策	8
	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミセン等で利用料を徴収する ・ 市の行事も有料で実施 (・ 人件費カット) 	
4	基本施策4 公共施設の有効活用	7
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化会館と公会堂、2つの必要性…? ・ コミセンの対応、利用しやすいように改善を。 ・ 公共施設の既存施設を有効活用できないか？(高齢者向け施設、保育、各地域に設置を) ・ 文化施設の市民割引を。(会員割引ではなく)(子育て支援) 	
5	基本施策2 サービスの改善・感じがいいが一番	6
	サービス内容に地域差がある(遠くて不便、コミセンの対応が場所によって違う、市政センターの休日・夜間・取り扱い内容の拡充、市職員の優しい対応) 市民評価・専門評価を取り入れる	
6	基本施策3 市民に届く情報提供	5
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時の情報提供の改善 ・ 市長への手紙、市民の目安箱でどのような意見がありどのように対応したか公表する 	
6	基本施策5 将来を見通した予算配分 継続性	5
	<p>予算の優先順位をしっかりと、少子高齢化を見越して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の人材活用 (子育てを終った人、高齢者、技術者の活用) ・ 民間委託の活用 (部分活用：一般事務等、保育等はしっかりと等) <p>建物を建てたら収支がしっかりできるようにして欲しい 地震対策は？</p>	
7	基本施策2 市民視点に立ったサービスの提供	4
	子ども施設や高齢者施設は町ごとに建てて欲しい。市民が望む施設を建てて欲しい。(武蔵野プレイスだけでなく西部図書館の空利用)	
7	基本施策3 わかりやすく・具体的情報提供・手段	4
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要な情報をわかりやすく得られるように！ ・ 今回のワークショップでは、目的・問題点を明確にして欲しい(資料に具体性がなく討議しにくい、添付資料も不十分、専門用語が多い) ・ ホームページから情報(検索)を得にくい、市報では良いが文化会館情報が遅い 	
7	基本施策3 市民への情報提供	4
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民に届く情報提供の方法を考えてほしい。(PC、メール配信、各駅 	

	への掲示など) ・魅力あるPRを。(文化会館のイベントなどのPRは市報に頼らずチラシなどを配布する)	
8	基本施策3(3) 広報と広聴の推進 緊急時・有事の情報伝達方法の多様化 ①JR三駅の掲示 ②各世代への配慮、ホームページなど、パソコンのない人(スピーカー、コミセン)	3
8	基本施策4(1)(2) 公共施設の有効活用 ①武蔵野公会堂(築50年)…維持費だけでも9000万、収益はどの位? ②民間への運営委託等 賃貸方式は?	3
9	基本施策1 市民参加の拡大 ・市民参加拡大の場としてのコミセンの活用 ・コミセンの運用に市が関与 ・情報の開示(貸している施設の収支を…) ・市民が市の持ち物を理解できていない	2
9	基本施策2 市民視点に立ったサービスの提供 ・魅力のある町づくり ・公共施設の見直し ・工事入札の業者は? ・産院が少ない ・放射能の情報	2
9	基本施策2 市民視点に立ったサービスの提供 ・利用日(土、日、夜間)を増やす ・市のHPがわかりづらく具体的な内容が少ない ・市民へのサービスが誰にでもわかる情報提供(市報読みづらい、駅前掲示板の活用)	2
9	基本施策4(1)(2) 公共施設の再配置 ・公共施設の公平な配置 ・市役所近辺へのアクセスの充実 ・不要施設(公会堂)、公園の活用法(花火、ボール遊び)	2
9	市有財産の有効活用 ・公会堂の建替(民間企業に委託) ・文化・スポーツ施設の管理等を民間企業に委託	2
9	基本施策5 社会の変化に対応していく財政運営	2

	<ul style="list-style-type: none"> ・臨機応変の予算運用 ・災害時の対応について市はどのようにするのか？ 	
10	基本施策2 市民視点に立ったサービスの提供	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・地震対策の充実 ・ホワイトイーグルの意義、必要性？ 	
10	基本施策3 市民に届く情報提供と市民要望に的確に応える仕組みづくり	1
	積極的な情報発信と説明責任の向上、施設の運営経費を詳しく納得できる形で説明してほしい	
11	その他	0
	魅力あるイベントの充実（土日開催とか）	

※グループ意見は自由にまとめられることとしたため、基本施策、施策の番号とタイトルは一致しないものがある。



<発表の様子>



基本施策、施策ごとの得票数

基本施策	得票数	施策	得票数
1 市政運営への市民参加と多様な主体間の柔軟な連携・協働の推進	2	(1)市政運営への市民参加の拡大	—
		(2)連携と協働の推進	—
		(3)市政運営等に関する将来像の共有化	—
2 市民視点に立ったサービスの提供	15	(1)行政サービスの提供機会の拡大	—
		(2)効率的・効果的な行政サービスの提供	—
		(3)公共サービスの連続性の向上	—
3 市民に届く情報提供と市民要望に的確に応える仕組みづくり	17	(1)積極的な情報発信と説明責任の向上	—
		(2)広聴の充実	—
		(3)広報と広聴の連携の推進	3
4 公共施設の再配置・市有財産の有効活用	12	(1)公共施設の再配置と計画的整備の推進	5
		(2)市有財産の有効活用	5
5 社会の変化に対応していく行財政運営	18	(1)これからの時代に乗り切るための経営力の強化	—
		(2)健全な財政運営の維持	—
		(3)ICT化による業務の効率化等の推進	—
		(4)リスク管理能力・危機対応力の強化	—
		(5)公共サービスにおける適正な受益と負担	—
		(6)財政援助出資団体に関する将来像の検討	—
6 チャレンジする組織風土の醸成と柔軟な組織運営	—	(1)目的意識を持ち自らチャレンジする人材の育成	—
		(2)個の能力を活かし組織力を高める人事制度の確立	—
		(3)職員構成や就労環境の多様化を見据えた組織のあり方の検討	—
		(4)今後の自治体のあり方の検討と職員定数の適正化	—
わかりやすい情報提供			10
具体的な歳入確保施策			8

市有財産の有効活用	2
魅力あるイベントの充実（土日開催とか）	—

※基本施策と施策で重複して集計。



<投票の様子>



「計画案について」健康・福祉分野		グループ No. 3
メンバー 黒田和男、板井利明、樋口稔、大須賀一雄		
グループの意見		投票欄
基本施策 1 (3)	地域の人とのつながりづくり	
市民同士の交流を深めるためには？ →みんなが来れる場づくり ・祭り、ラジオ体操、自転車の講習会など		●●
基本施策 2 (2) (3)	障害児(者)支援、認知症施策	
障害者、認知症の方々の地域との関わり合いは？ →“生かされる”より“生きる”生活を 「早期発見」←コミュニティへの参加など、文化事業への参加など		●●●●●
基本施策 1 (2)	高齢者・障害者の雇用・就労支援	
生き生きと働くためには？ →・教育現場での仕事（教員の補助、用務員、登下校の監視員など）・公共施設の管理		●

健康・福祉 3グループ

基本施策1(3)
 ・高齢者・障害者の活動支援の促進。“生かされる”より“生きる”生活を送るために活用できる。
 ・障害児(者)へは、施設療育との深い距離自体も問題ではないかと
 ・児童福祉の「地域リハビリテーションの推進」は重要である。関係は「何をやるか？」
 ・認知症の早期発見はどうやる？（検閲、システム、etc）
 ・認知症高齢者のケアの推進、本人が知らない無意識的に保証するので、ある程度本人情報を開示する。
 ・認知症は確実に増加すると見られて、事前の対策等、市での取り組みがいくつかあると思う。

基本施策2(2)
 ・福祉施設が少くない？（介護施設）
 ・税金高い！
 ・支える人も辛い負担（福祉施設）

基本施策4(2)
 ・人口と高齢化（福祉負担増）
 ・高齢者の雇用確保は？
 ・公共施設の管理を高齢者に
 ・教育現場（教員の補助、用務員、登下校の監視員）

基本施策1(3)
 ・市民同士の交流を深めるためには？（イベント、祭りなど）
 ・みんなが来れる場づくり
 ・自転車講習会
 ・ラジオ体操？
 ・高齢者のコミュニティ化
 ・健康について・・・少子化、高齢化の他に
 ・その他
 ・自転車道の確保の確保
 ・もしもすると災害時は車椅子でも地域の支援が必要ではないかと
 ・災害時の避難場所
 ・農産物の産地公開（水、乾物類）
 ・計画性、継続的な設備（自費）が見えず、どう変わるかがわからない

「計画案について」健康・福祉分野		グループ No. 4
メンバー 村澤さん、嘉也子さん、越山さん、めぐみさん、鈴木さん		
グループの意見		投票欄
基本施策 1	支え合いの気持ちをつむぐ	
いろいろな年齢層の人々が集まれる場を積極的に進めて欲しい。それを広い広報して欲しい。例えばあき教室の利用など、地域の掲示板、コメンタより地域にいくつもがあると便利である。		●●●●●
基本施策 2	誰もが地域で安心して暮らしていける仕組みづくりの推進	
認知症予防を積極的に進めて欲しい。その1つとして高齢者のための働く場を保障して欲しい。（現在ではシルバー人材センターの仕事は“きつい”。例えば草取り等）障害児へのリハビリ、家族支援を充実して欲しい。（質のアップを。ショートステイ、1時預かり等。青年の働き場。発達障害児等）働きながらも介護できるように→建築前の十分な検討をしたバリアフリー		●●●●●
基本施策 3	誰もがいつまでも健康な生活を送るための健康づくりの推進	
子育て中の母親の心身の健康サポートを進めることが虐待予防、子どもの健やかな成長につながる。予防接種の負担軽減、訪問相談、医療費は高校まで無料等。一時預りの充実 気軽に医療相談、予防検診の年齢の拡大、医療の質の向上（メンタルケアの重要性認識）		●●●●●

健康・福祉 4グループ

子ども
 ・福祉員を雇用して欲しい
 ・各施設の内容を充実させる必要、施設員も人手不足で困って欲しい
 ・子供達の自己責任をなくしてほしい
 ・中学生までの遊ばせよう施設が少なくて地域生活が難しい
 ・入会くなる人が多くなる
 ・子育てを一人でやっている時期に多い
 ・子どものための情報は検索が多くなる
 ・（施設）2、3つへの訪問が充実していない（認知症センター）
 ・子どもの福祉が少くない（第一種、第二種にも欲しい）
 ・空き家を使うことで安くはならない
 ・コミュニティセンターを他のことと兼ねて
 ・コミュニティの場
 ・空き家に活用がある
 ・福祉etc
 ・空き教室の活用。交通の便が悪いので無料になる。体育館
 ・認知症予防は子どもと高齢者が一緒に取り組める施設があるといいと思う
 ・少子化の解決のため、市の公共施設で世代間パーティーを行ってほしい（同じ世代の高齢者）
 ・老人の介護が受けられる。高齢1人暮らしの世帯、60代から知らず知らずのうちに必要になると思う
 ・認知症対策、検診、自費の負担を減らして早期発見へ
 ・高齢者のための仕事、人材センターだけでなく（ボランティア、教員のサポート等）
 ・働きながら介護できるような仕組みを欲しい（市民の負担を減らさない、住民参加型とショートステイではない）
 ・住宅の確保が多い。建て替え前に一定の検討をして欲しい

障害児・者
 ・障害児のリハビリ内容の充実をして欲しい（地域で見られるように）
 ・障害児のショートステイがあると思う（一泊前に預かってもらえるように）

青少年
 ・児童福祉課の青少年の課を設ける。児童課の充実をして欲しい
 ネットワークの構築
 ・地域ネットワークの強化（専業主婦の人の多い）
 ・知られていない（子どもの進路、高齢者）
 ・自治申請会を知りたい
 ・国庫給付の必要性
 ・前案になる前にどうなんだろうと疑問に思われる
 全般的課題
 ・労働環境は今ままである。さらに改善が必要
 ・医療・福祉に人材が不足している（何の何が医療費）
 ・空き地・公園等一年おいてラッシュアワーでも市民の憩いの場があると良い
 ・公園等に乳幼児が居るので、仮がなくて！という方法はないかと

「計画案について」健康・福祉分野		グループ No. 5
メンバー 西川さん、中井さん、大谷さん、竹本さん		
グループの意見		投票欄
基本施策 1 (3)	地域の人とのつながりづくり	
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の空き教室の再利用により、高齢者と小中学生のコミュニケーションの場を作る。 ・高齢者や地域の方々に協力してもらい、更に学童を充実させる。 		●●●
基本施策 4 (1)	高齢者・障害者の活動支援の促進	
<ul style="list-style-type: none"> ・障害者が参加しやすいようなコミュニティを作る。 一例として、障害児のための親子交流会など ・高齢者とコミュニケーションの方法を増やす。 例。他地域で行われている「黄色の旗」に代わるもの 		●
基本施策 5 (1)	サービスの質の向上	
<ul style="list-style-type: none"> ・コミセンの利用価値を高める 例。生活習慣病予防、介護予防のためジムマシンを置く ・ムーブス運行の再検討 高齢者と障害者に使いやすく！！（大学生と同額で利用でいいの？） ・市役所へ行くバスが少ない所が多い。 		●

「計画案について」健康・福祉分野		グループ No. 6
メンバー 石田さん、信さん、やまぐちさん、まつださん、山本		
グループの意見		投票欄
基本施策 1 (3)	地域の人とのつながりづくり	
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の空いている教室を利用した高齢者と幼児・児童の交流の場所、時間を作る。 		●●●●●
基本施策 3 (2)	健康を維持・増進するための施策	
<ul style="list-style-type: none"> ・元気な高齢者の社会参加を促進 ・病気になるために生き甲斐・達成感への支援活動。 		●●●●
基本施策 4 (2)	高齢者・障害者の雇用・就労支援	
<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターの活用の為、職種を増やし、現役時代の能力を活かせるようにする。 又、依頼する側にもそれら（履歴書等）が見えるように告知する 		●●●●●

健康・福祉 5グループ

- ・存在しているフォローアップで
- ・障害者にとってもっと身近にしやすいコミュニティを作る施策がある
- ・施設内作業 → アトリエ（デイサービス）
- ・小中学校の空き → 不要になった場合の学校の再利用
- ・障害者向けの親子交流会を行う
- ・高齢者とのコミュニケーションの方法 → 民生委員や黄色の旗など
- ・学童の充実 → ムーブスタジアム、待機児童の解消
- ・小さいときからボランティアの経験に慣らすための、小中学校が高齢者施設を設ける
- ・インフォメーションの充実 → 正確な情報は限定的
- ・高齢者の介護、予防となるような必要のメニューを1週間ごとくらい作成して地域・団体の共有
- ・生活習慣病の予防のためのコマセンにジム
- ・住居が所得に合わない人が増えている
- ・ムーブスで高齢者は障害者が利用できるのか？

健康・福祉 6グループ

- 基本施策1（表見合）、2（安心して暮らせる仕組みづくり）
- ・自衛隊、共助、公助、助成
 - ・コミュニティの活性化（市・区、コミュニティ別）
 - ・民生委員の充実（一人暮らしの対応もあつち、地域課の増設を希望）
 - ・従属的のコミセンの後継計画
 - ・小さい子が遊べる場所、施設が欲しい
 - ・子どもと老人の交流
 - ・住んでいない家や空きを活用できないか
 - ・地域の人どうしのつながりは大事
- 基本施策3（健康）、4（高齢者・障害者の活動、雇用支援）
- ・健康の増進が大事
 - ・高齢者にならないための予防を重視する
 - ・自衛隊の増設
 - ・スポーツ施設の充実
 - ・健康教室がもっとある場所の必要性
 - ・元気な高齢者の社会参加
 - ・高齢者の就業について
 - ・シルバー人材センターの活用は有効
 - ・履歴書がないと応募できない
 - ・障害者の生活支援
 - ・生き甲斐、達成感への支援活動
 - ・地域の人どうしつながっていいのかな？
- 基本施策5（生涯学習支援）
- ・目標設定
 - ・コミセンの後継計画（従属的）
 - ・子どもと老人の交流
 - ・高齢者の住み替え
 - ・相談事業の充実
 - ・市民自衛隊の増設が急務ではない取組でも重要

「計画案について」健康・福祉分野		グループ No. 7
メンバー あみの、高橋、西本、金子		
グループの意見		投票欄
基本施策 1 (3)	地域の人とのつながりづくり	
<p>・地域活動の拠点：コミセンを活動拠点であると同時に情報拠点の場にして欲しい。市民まかせではなく、もう少し市も運営に関わって欲しい。</p>		●●●●
基本施策 2・5	誰もが地域で安心して暮らしつづけられる仕組みづくり	
<p>・公共施設の多様な活用 ・少子化による空き教室の活用（高齢者向け福祉施設、保育施設など）</p>		●
基本施策 3	健康づくり	
<p>・公共施設だけに限らず民間の活用 ・予防を目的とした健診項目を増やす（高齢者など）</p>		●●●

健康・福祉 7グループ
<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の拠点としてコミセンの活動が盛況な方が多い ・福祉の会ってない ・コミセンを盛り上げる仕組みを作る ・ボランティア活動（具体的なことは？） 既報 ・年寄世帯の増加から高齢者を外に出す <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館、地域の人のつながりの ・公共施設の多様な活用 ・若者支援と行政 ・介護保険、全国一律はあつたが、自治体の負担と合のせるべき。 ・協力を相談する、相談する相手がない ・競争を少なく、民間検査受託、福祉施設の ・福祉施設の多様な活用 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防としての市の健診項目を増やす ・健診受診率として民間施設の活用 ・健康づくり、食事 <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者高齢者が活動できる制度・環境をつくる ・施設員 ・介護保険充実 ・高齢者 <p>⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館は市民の福祉 ・市役所もつとむ力的な市の ・地域できる人選レベル（民間機関は多く）

「計画案について」子ども・教育分野		グループ No. 3
メンバー 奥橋、大槻、満尾、中沢		
グループの意見		投票欄
3 (2)	子供と高齢者の交流の場をつくる。	
	1.子供が孤立している。 2.同級生・クラブ活動以外の仲間とつきあうことが大事。 →「昔の遊び方」を教える。(道徳的教育を行う) ・ボイスカウト的な行事を行う。 ・地域の高齢者から「現役時代の体験、知識」をやさしく教える機会をつくる ・団体行動を理解させる。 ・体育指導(鉄棒、体操)を行う。	●●●●● ●●●●●
基本施策 4 (2)	保育園の充実化	
	1.予算を増やし、数と中身を充実する。 2.働くお母さんを支援する。	●

子ども・教育 3グループ

- ・「キャンパリー」を続けてもらいたい。
- ・子供が学校で居る後遊び場が欲しい。
- ・学校の部活動(ブラスバンド)などの指導する先生への支援が必要!
- ・コミュニティは「大人の遊び場」で子供の「場」ではない。
- ・長らく子供を育てる環境をつくる。
- ・特色を持った学校教育づくり。
- ・働く「母」が抱える気持ちは必要か?
- ・子供を育てたい親がいますか?
- ・保育者が保護者になるのは何故ですか?
- ・自由ほんだら、子供会、公園、保育園が保護者入り。
- ・保育園の担当する子供が減少している。
- ・子供を育てたい親を作る必要がある。随時的(施設)などの支援に加え、ネットワーキングのメンタリヘルプも必要。
- ・学校以外の交流(・図書館)
- ・マンション設立
- ・子供・孤立一家族の中でも非常電話
- ・学校一帯に配置して欲しい。家とかが閉まっている!
- ・学校委員の自由

「計画案について」子ども・教育分野		グループ No. 4
メンバー のぐちさん 小西さん 桔梗 杉ちゃん		
グループの意見		投票欄
基本施策 2 (1)	子育て支援情報発信の充実	
	①子育て中の母親が孤独にならない様に市は情報発信を積極的に進める。 ②子育て支援情報を1本化し専用窓口を設ける。 ③情報発信手段の多様化(市のHPの充実) 市報に専用ページ CATV、むさしのFM等	●●●●● ●●●●●
基本施策 5 (6)	少子化に対応した学校教育のあり方	
	①市の教育として特徴あるものをクローズアップ セカンドスクール、ホームステイ ②国公立や市立の中学校に流れない様に質の高い教育	
基本施策 1 (3)	保育サービスの充実	
	①気軽に子供を預けられる施設の充実 ②テニソンハウスの土日利用 ③4歳児5歳児対象のサービス ④小学校の空室活用 ※既存の施設をじゃょうずに活用	●●●●● ●

子ども・教育 4グループ

基本施策1

- ・子育てがこんな大変な時代の中になんか何故でしょうか?
- ・4・5歳児の施設が足りない(0123の対策)
- ・待機児童の解消は急務
- ・保育ママの活用
- ・幼稚園の運営が厳格な公的施設が欲しい!
- ・子供だけでなく、お母さんにも人権がほしい!
- ・子供も、子育て家庭へのサポートの充実。子育て中の母親が孤独にならないように、等。
- ・子育て支援施設などからの情報を市民に届けて欲しい!全くわからない!
- ・子育て情報は市民に届けてほしい(窓口)
- ・子育て支援窓口の一歩前進してほしい(専用窓口等)
- ・市民にこんなやってほしいというメッセージを市が発信してほしい
- ・CATVで市民情報を多く放送してほしい!
- ・市の教育として特徴あるものがクローズアップされてほしいか?
- ・保育ママの情報発信に役立てて使ってもらえるようにする
- ・保育サービスの充実。毎朝に子供を預けられる施設があったら便利
- ・テニソンハウスを週末だけでなく、平日でも使ってもらってほしい!

基本施策2

- ・0123は良い施設、ただし4歳は利用できない!
- ・小学校の1階が数回!小学校はだめでしょ!市民に届けて来ない!
- ・小学生の放課後活動の充実
- ・空室調整ももっと活用してほしい!
- ・保育サービスの充実
- ・ケーブルTV活用

基本施策3

- ・教育の質の向上
- ・レベルアップの授業・高校
- ・放課後教育
- ・学校のあそび場地域の教育を、あそび場。
- ・大人が子供で中の子供がほしい(地区でもほしい)
- ・シニア層での子育ての必要
- ・学校教育支援体制の充実
- ・情報・はじめのサポートネットワークを!
- ・セカンドスクールがほしい(ホームステイ)
- ・子供が自然に訪れる公園・イベントは多い
- ・公園にトイレを!

「計画案について」子ども・教育分野		グループ No. 5
メンバー 木村、根本、こだか、阿部、ゆかこ		
グループの意見		投票欄
基本施策 4	子ども・子育て家庭を支援する体制・施設の整備	
①施設でかかる経費が高い割には設備が不十分なものがある。公園にトイレがないなど。 ②様々な施設があるが内容がわからない。自由に見学出来るシステムがあると良い。(あそべえ、O123など) ③情報発信の充実が具体化されていない。		●●●● ●●
基本施策 2	地域社会全体の連携による子ども・子育て支援の充実	
①子供たちの遊び場がない。 ②授業についていけない子達への補習を行う場が必要。 ③年輩者の特技を子供に教えるなど、交流する場が少ない。		●●
・産みやすい環境を ・子供を守るシステム作り ・防犯・犯罪 ・職業教育を増やす ・私立と市立への接点 ・学校と地域		●●

子ども・教育 5グループ	
<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援において、子育てが楽しく育みたいものを目指したい、具体的にどう？ あそべえはいいよ、市との連携がなかった。何が連携は取れているか？ 小学生の目的の施設がどのように利用されているか？ 保育園増設する計画に賛成する 小学校の人数が少なく、途中で廃校にならないか？ 公園にトイレを作ってほしい(移動式の公園) 遊具に費用を掛けるのなら、トイレを作って欲しい 施設でかかる経費が高い。(2票！) 情報発信の充実が具体的にほしい(子育て支援団体の) 産みやすい環境を、不妊治療の助成金 職業教育について、市立・セカンドスクール、中名：職業訓練 授業についていけない子達への補習を行う 子供たちの遊び場がない、ボール遊び制限が 子供が保護者自走車でスピードを上げて歩行者無視、あそべえ 防犯・犯罪上、地域で子供を守るシステム 子育て相談システム(電話等) 子育て支援施設と子育て中の世代の交流が前年と異な 80まで育みたい子供がほしいので可 年輩者の特技を子供に伝える機会を増やす 	

「計画案について」子ども・教育分野		グループ No. 6
メンバー けいちゃん ちかさん ひろみさん モモ たかちゃん		
グループの意見		投票欄
基本施策 4(1)	子ども協会について	
・子ども協会の体質は？市民にきちんと説明してほしい 子ども協会は何なのか？市の事業を委託する前にきちんと説明してほしい・子ども協会がよくわからない。どうして市の子育て関連事業を子ども協会に移行する必要があるのか・保育園民営化・O123運営費についてびっくりしました・O123そんなにお金かかるのですか・内訳1億414万場所 ・O123の運営費の内訳はどうなっているのか？		●●●● ●●
基本施策 1(1)	子育て支援について	
・子育て応援券を作ってほしい(子育て関連施設で利用) ・一時保育の充実 利用したいときに利用できる一時預かりの充実・一次保育買い物間とか！・ひまわりママ？・子育て支援について・子育て応援券について		●●●●
子どもを産みやすい環境の整備について		
・不妊治療の助成 ・産院の充実		●●●● ●●●●

子ども・教育 6グループ	
<ul style="list-style-type: none"> 保育園の増設はどうしている？ 子どもの数が余り少なすぎてびっくり 教育費は低率で保育費に必要か？ 産みやすい環境(家で)ですが、014～6年生の校外生活、とても大変です 産みやすい環境、産みやすい必要か？ 保育園の公園トイレ！ 子育てネット(HIP)の充実(子育て情報機能、情報交換の場として) O123 産む年齢制限、一定期間しか利用できない施設をみんな作るのではなく、今の施設を利用して幅広い世代交流ができる施設を建設 市内、東・中央・西・南・北、一帯にわたって子育て事業が広がる、それ以外の地域におもてなし子育て支援を！ 転居前からの子どもを育てるため、施設入居は対策をとってほしい(情報も正確に！) 	

「計画案について」都市基盤分野		グループ No. 5
メンバー ふくいさん、龍さん、えがわさん、石田		
グループの意見		投票欄
基本施策 3 2-3	利用者の視点を重視した安全で円滑な交通環境の整備	
<p>・スムーズな交通をさまたげている隅切整備の促進。すべてに優先してバリアフリー化を推進する。</p> <p>・吉祥寺の公園にいける地下道の新設が道路網の整備小さな公園が多過ぎる又公衆トイレが少ない。</p>		●●●●●
基本施策 3 4	公共交通機関の利用促進	
<p>・本来ムーバス設置の意義を考え直す。老人と通勤者との分別。時間・料金</p> <p>・ムーバスの利用者のネットワークの再考</p>		●●●●
基本施策 3 5	自転車利用環境の整備と交通マナーの啓発	
<p>・駐輪場の利便性</p> <p>・駐輪場の立体化</p> <p>・駐輪場の使い勝手</p> <p>・放置自転車のその後</p> <p>・利用者マナー</p>		

「計画案について」都市基盤分野		グループ No. 6
メンバー 池田さん、つつちーさん、たかちゃん、こーむら		
グループの意見		投票欄
3	利用者の視点を重視した安全で円滑な交通環境の整備	
<p>・ムーバスの逆循環をつくる</p> <p>・夜遅くまでの運行時間の拡大及び本数の拡大</p>		
3-5	自転車利用環境の整備	
<p>・駅の近くに地下駐輪場をつくる</p> <p>・できる限り自転車専用道路をつくる</p> <p>・自転で走りやすくするために重柱の地中化</p>		●●●●●
1-3	土地利用の計画的誘導	
<p>・さら地になっている市有地を有効活用</p> <p>→市民農園のスペースとして利用</p> <p>狭い土地であれば防災倉庫として利用</p> <p>子どもの遊べるスペース</p>		●●●●●

都市基盤 5グループ

基本施策3

- ・駐輪場の利便性
- ・駅に駐輪場を多く設置する
- ・自転車専用道路の立体化が必要ではないか
- ・自転車の道、駅の周辺
- ・駐輪場の整備
- ・自転車の盗難の軽減に努める
- ・他の市町村での駐輪場の整備状況を知る
- ・自転車利用者のマナーについて
- ・ムーバスのネットワーク、利用者が多くいるのでネットワークの改善
- ・本来ムーバス設置の意義を再考する(老人、通勤、若者、観光客など)
- ・ムーバスの運行は、再考が必要ではないか
- ・スカープな交通をさまたげている隅切の促進
- ・すべてに優先してバリアフリー化の推進
- ・小さな公園が多過ぎる
- ・吉祥寺の公園にいける地下道の整備が道路網の整備
- ・公衆トイレの利便性

基本施策4

- ・老人の通勤
- ・通勤経路は事前に再考する必要がある
- ・通勤経路の早期実現
- ・駅に通勤専用通路を多く設ける
- ・通勤経路の整備が道路網の整備

基本施策5

- ・商業の発展は其の周辺の活性化が必要
- ・防犯、防犯カメラ、下水道(一生懸命)

基本施策7

- ・駅周辺の地区(直と長期)の再考
- ・駅前駐輪場の早期実現
- ・駅(吉祥寺)周辺、駅に寄りかかっている
- ・吉祥寺周辺、駅前をきれいにする
- ・駅の周辺、防犯(防犯)、防犯カメラ(防犯)

都市基盤 6グループ

ムーバス

- ・駅、商業地区から市外の地区まで運行されるムーバスをどうするか
- ・ムーバスの増強(サービス路線の拡大)
- ・ムーバスの逆循環をつくる
- ・ムーバスの増強(乗客が多いところがある)
- ・ムーバスを多く運行
- ・夜遅くまでの運行
- ・本数の増加

自転車

- ・自転車の専用道路の確保、制限、禁止
- ・駅の近くに地下駐輪場
- ・レンタルサイクル
- ・駅に設置してもらう
- ・自転車専用道路を確保する
- ・自転車専用道路をつくる
- ・走りやすくするために重柱の地中化
- ・重柱
- ・重柱、アスファルト
- ・重柱として効率的な設計(特に吉祥寺が中心で運行しては)
- ・吉祥寺周辺(駅周辺)で運行する(2つの利用者の感度)の確保
- ・吉祥寺駅周辺の整備、バス専用道路
- ・下水道整備
- ・下水道が利用されるのはよくない
- ・下水道、駅周辺(防犯)の整備(防犯)
- ・重柱
- ・さら地になっていない市有地の有効活用
- ・公共施設の活用
- ・重柱(防犯)の活用(防犯)の活用(防犯)
- ・下水道整備、防犯

「計画案について」行・財政分野		グループ No. 3
メンバー 阿部、あべ、くじ、ヨシダ		
グループの意見		投票欄
1	わかりやすい情報公開	<ul style="list-style-type: none"> ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
<ul style="list-style-type: none"> ・市有財産の経費だけでなく収支を掲示 ・歳入・歳出の内訳も市民にもっとわかり易く 		
2	具体的な歳入確保施策	<ul style="list-style-type: none"> ● ● ● ● ●
<ul style="list-style-type: none"> ・コミセン等で利用料を徴収する。 ・市の行事も有料で実施。 【・人件費カット】 		
3	市有財産の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ● ●
<ul style="list-style-type: none"> ・公会堂の建替（民間企業に委託） ・文化・スポーツ施設の管理等を民間企業に委託 		

行・財政 3グループ
<ul style="list-style-type: none"> ・市政センターの建物オープンが道の駅志向になった。 ・今の市政センターは、10年後20年後が財政的に不安定。 ・将来的に運営できる「施設」の投入、支出計画を立てる必要がある。 ・「市の計画」を今から考えて10・20年後の健全市況を維持したい。 ・市の計画をちゃんと見直し。 ・大卒率11.5%の低率と若年層の増加、福祉課題と正規職の公平性の確保。 ・歳入を将来的に確保する施策が必要だ。 ・行政サービスについて「民間」の法人を検討する必要がある。自費交付費の活用継続延長を望むのが正しい。 ・福祉分野はインターネットでこぼれる「介護費」を有効に活用する案と多額の費用を、詳細公開（わかりやすくする） ・わかりやすい言葉で説明。 ・説明会は「入れしめ」は立派ですが、中身が工夫が不足している。 ・市の「ハコモノ」の総額公開して、財源をどう確保するか。 ・市有財産の有効活用を推進しているのか？ ・モニタリング ・経費の削減提案をわかりやすく示して欲しい。 ・具体的に

「計画案について」行・財政分野		グループ No. 4
メンバー 越山、カブラギ、ナカジマ、カネコ		
グループの意見		投票欄
基本施策 3	市民への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ● ● ● ● ●
<ul style="list-style-type: none"> ・市民に届く情報提供の方法を考えてほしい。 (PC・メール配信・各駅への提示など) ・魅力あるPRを (文化会館のイベントなどのPRは市報に頼らずチラシなどを配布する) 		
基本施策 4	公共施設の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ● ● ● ● ● ● ● ● ●
<ul style="list-style-type: none"> ・文化会館と公会堂。2つの必要性・・・？ ・コミセンの対応。利用しやすいように改善を。 ・公共施設の既存施設を有効活用できないか？(高齢者向け施設、保育、各地域に設置を) ・文化施設の市民割引を。(会員割引ではなく。)(子育て支援) 		
基本施策 2	市民視点に立ったサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ●
<ul style="list-style-type: none"> ・地震対策の充実 ・ホワイトイーグルの意義、必要性？ 		

行・財政 4グループ
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者：手帳 ・民間委託 ・民間委託。大仕事 ・コミセン、サービス施設、子育て施設、市立会館、 ・市立会館にトイレ。近々の入居区もある。子育て ・情報発信 少子高齢化 ・文化会館の再整備は。緊急課題ではないが ・必要不可欠な施設。 ・文化会館への市の支出についての規制 ・将来的な必要施設は。申し立てし、設備を。 ・公共施設の再整備の有効活用を。 ・生活者の負担軽減と関係者の関係がある。財政の再構築を計ってほしい。 (アメリスにも関係ある再整備の向上) ・文化会館の活用 ・文化会館。公設民営の一つでは有効だが。 ・市報の二、三の増ページを掲載して。読み易くする ・ポイントカードの導入 ・高齢者福祉施設。各地域、各駅に(建設中だが) ・PCメールの整備 ・モニタリングしている人への情報、包括的 ・魅力あるPRを。市民向けに多くイベント(子供まつりなど) ・福祉サービスの充実 ・市民に適切なサービス提供。 ・吉祥寺のステーション。周辺の再開発による再開発による効果的 ・駅7分。再開発の再開発 ・公共サービスの再整備、連携 ・高齢者福祉施設が整備する ・子供も活用 ・経費の削減が重要 ・市民の心を繋ぐ。当時からイベント。歳入につながるような。 ・収入をどうするか ・財政的にどうするか ・財政的にどうするか ・財政。専門家の意見を参考に。 ・もっと市民の意見が聞けるようにしてほしい。運用改善。 ・市民の意見の再整備が。どうやっていっているのか？削減するしないので発表事項が重要。 ・児童館の活用 ・下町に再開発。市民生活。どうやっていっているのか？削減するしないので発表事項が重要。 ・大正堂の再整備は。しかし市民生活が...

§ 2 ワークショップ実施状況報告

1 事業概要

- (1) 日時 平成 23 年 10 月 16 日 (日) 13 : 00 ~ 16 : 30
平成 23 年 10 月 23 日 (日) 13 : 00 ~ 16 : 30
- (2) 会場 武蔵野市役所 811 会議室・812 会議室
- (3) 対象者 ・平成 23 年 9 月 1 日現在、武蔵野市の住民基本台帳に登録のある年齢 18 歳以上の市民から無作為に選出した市民 1,000 名
・ワークショップ I・II 参加者 149 名
- (4) 参加承諾総数 151 名 (新規抽出者 102 名、ワークショップ I・II 参加者 49 名)
- (5) 参加者数等

		総数		新規参加者	前回参加者
延べ人数	10月16日(日)	99名 (参加予定者数118名)		69名	30名
	10月23日(日)	89名 (参加予定者数118名)		60名	29名
	合計	188名		129名	59名
実人数			二日とも参加した人数	16日のみ参加	23日のみ参加
	新規参加者	84名	45名	24名	15名
	前回参加者	33名	26名	4名	3名
	合計	117名	71名	28名	18名

※一日ごとの参加者数の上限 120 名を上回る 135 名の承諾があったため、前回までの参加者のうち、事前の案内どおり 2 日間とも参加できる方を優先して 1 日のみ参加希望の方 (8 名) を対象外とし、さらに抽選により参加者を 120 名と決定した (長期計画策定委員会委員が抽選)。

- (6) テーマ 「計画案について」
- (7) 実施分野 10月16日:「健康・福祉」「子ども・教育」「文化・市民生活」分野
10月23日:「緑・環境」「都市基盤」「行・財政」分野
* 今回のワークショップでは、計画案の施策の体系に基づいて、6 分野で実施した。
- (8) 討議の方法 4~5 人のグループに分かれて自由討議。
途中 1 度メンバーチェンジを行った後、元のグループに戻り、グループごとに意見を 3 つまとめて発表。
最後に全員で投票をし、順位付けを実施。
- (9) 謝礼 一日につき 4,000 円
- (10) アンケート回収数 参加者アンケート 127 件
参加不承諾者アンケート 294 件
- (11) 託児数 10月16日10人、10月23日6人
- (12) 見学者数 10月16日3人、10月23日5人

2 事務日程

- * 9月1日(木) 無作為抽出基準日
無作為抽出により参加案内発送対象者リストを住民基本台帳から打ち出し
市報9月1日号に関連記事掲載(「第五期基本構想・長期計画無作為抽出市民ワークショップⅢ参加案内を送ります」)
- * 9月9日(金) 参加案内発送(封書1149通)
 - ・新規に抽出した方1000名
 - ・ワークショップⅠ・Ⅱ参加者149名
- * 9月15日(木) 市報9月15日号に関連記事掲載(「第五期基本構想・長期計画策定無作為抽出市民ワークショップⅢにご参加ください」)
- * 9月22日(木) 未返信者へ再度通知(ハガキ804通)
- * 9月27日(火) 参加承諾及び参加府承諾者アンケート返信期限
- * 9月30日(金) 新規に抽出した方へ参加承諾者へ参加依頼通知
- * 10月3日(月) ワorkshopⅠ・Ⅱ参加者は抽選により参加者を決定
- * 10月16日(日) ワorkshop1日目:計画案について「健康・福祉」「子ども・教育」「文化・市民生活」分野
- * 10月23日(日) ワorkshop2日目:計画案について「緑・環境」「都市基盤」「行・財政」分野



<話し合いの様子>

3 当日の進行

時 間		概 要 等	
12:30～13:00	30分	受付	くじ引きにより、分野とテーブルを決定
13:00～13:10	10分	オープニング 説明	主催者挨拶（10月23日：市長） ① 長期計画の説明 ② ワークショップの位置づけ・進め方
13:10～13:25	15分	情報提供	分野ごとの主な内容、事業経費等について
13:25～13:35	10分	話合いの準備	① 名札作成 ② 意見出し（一人最低3つずつ付せんに記入。 計画案の施策の体系について、感じたこと・ 考えたこと、など。）
13:35～14:05	30分	第1ラウンド	① 自己紹介（名札に書いた名前の理由を説明） ② 討議（付せん説明、自由討議） ③ 意見を付せんに記入。
14:05～14:10	5分	メンバー チェンジ	テーブルホスト一人を残して、他メンバー全員入 れ替え。空いてる席に自由に移動。
14:10～14:40	30分	第2ラウンド	① テーブルホストから順に自己紹介 ② 第1ラウンドでの内容紹介 ③ 自由討議 ④ 意見を付せんに記入
14:40～14:55	15分	休憩・メンバ ーチェンジ	最初のテーブルに戻る。
14:55～15:25	30分	第3ラウンド	① 第2ラウンドでの話し合い内容紹介 ② まとめ作成（各グループ3つまで）
15:25～15:55	30分	発表	分野に分かれて意見発表（1グループ3分）
15:55～16:05	10分	投票・休憩	シールを一人3枚ずつ貼って投票
16:05～16:15	10分		投票結果（ベスト3）の共有
16:15～16:30	15分		アンケート記入・参加していない分野の発表用紙 見学等

4 参加者の状況等

参加者の構成（新規参加者と前回までの参加者の合計）

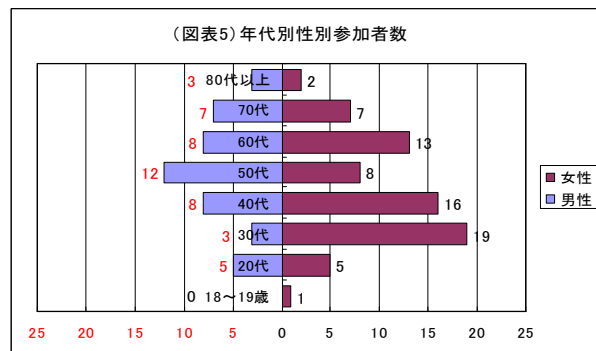
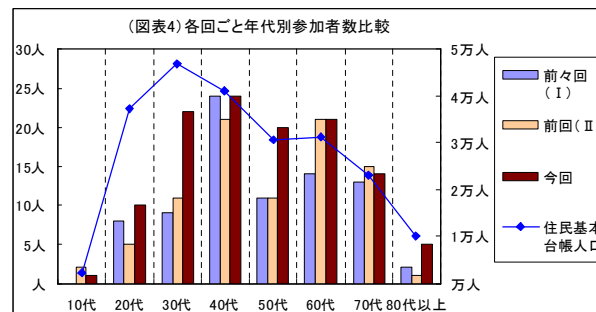
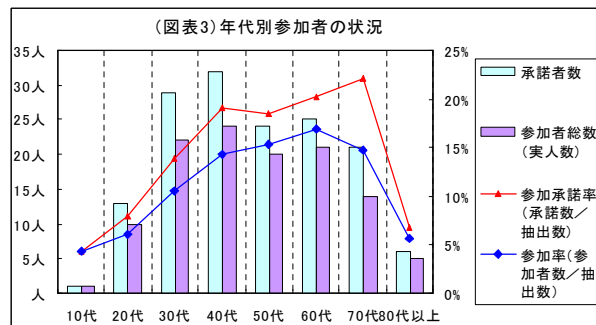
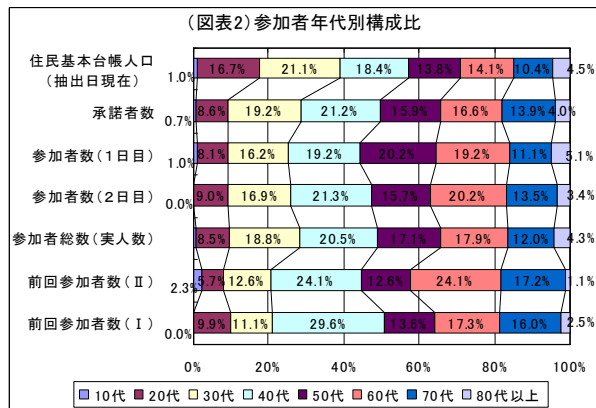
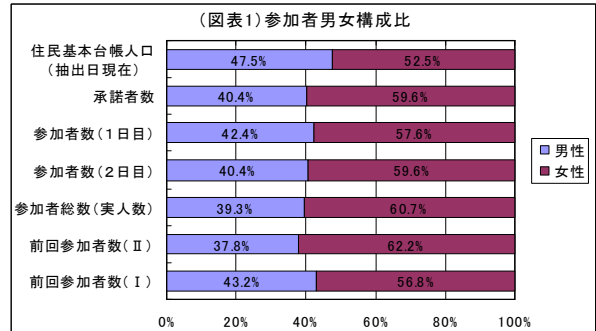
今回のワークショップは、新たに抽出されて初めて参加した方 84 名に加えて、前回までの参加者 33 名が参加しているため、この項目に掲載しているグラフは、抽出者 1000 名に対する参加率ではなく、前回参加者も含めたワークショップⅢ参加者全体の数値である。よって、新たに抽出された方の分析については、後述する。

参加者の男女の構成（図表 1）は、全ての回に共通して、女性の率がやや高まる傾向が見られる。

年代別の構成（図表 2）を見ると、住民基本台帳人口の構成と比較して、20 代・30 代の参加者の割合が小さくなり、60 代・70 代の参加者の割合が大きくなる傾向がある。これも全ての回を通じて共通した傾向である。

また参加承諾率・参加率（図表 3）は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がある。80 代については低くなるが、これは体力・健康面の問題や市政についての会議は難しそうとの不安などが原因かもしれない。実際の数値で見ると、30 代・40 代・70 代は承諾者と、実際の参加者の差が大きいことがわかる。30 代・40 代は予定が確定していない時点では、いったん承諾するものの、他に予定が入ってそちらを優先したか、70 代については健康面が影響しているかもしれない。

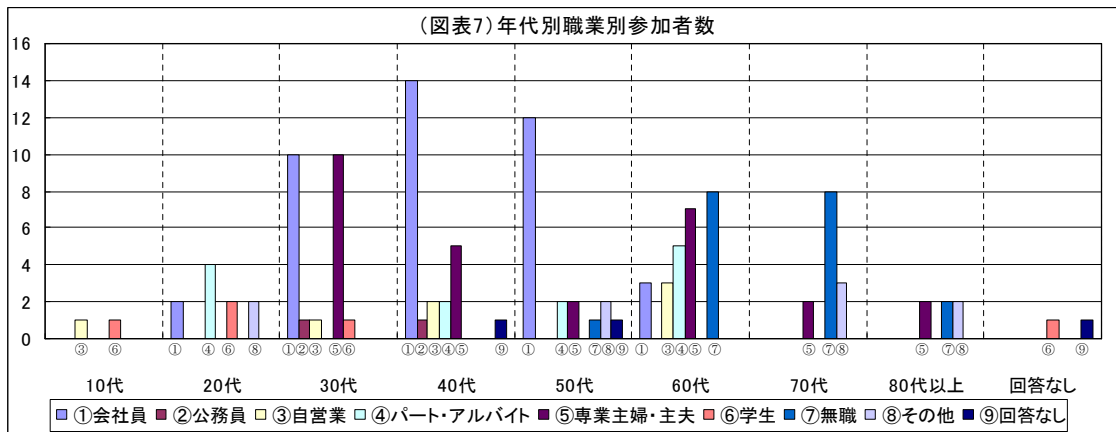
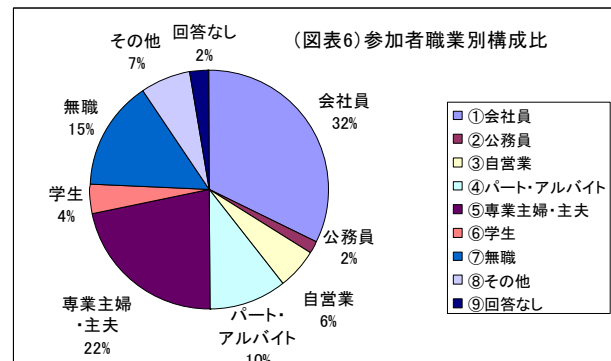
図表 4 は、ワークショップⅠ～Ⅲの参加者数を年代別に比較したものである。今回のみ 30 代・50 代の参加が増加していることがわかるが、今回のみの特殊要因は考えられないため、理由はわからない。また住民基本台帳人口と比べると、20 代・30 代の参加者は少なく、60 代・70 代の参加者は多くみられることがわか



る。

年代ごとに性別をしてみる（図表 5）と、女性は 30 代・40 代・60 代が多く、20 代・50 代が少ないことがわかる。30 代・40 代の女性については、子育てに関心が高いことが原因と考えられる。男性は 20 代～40 代の参加が極端に少なく、構成が完全に崩れており、均等な参加が得られているとは言い難い。

参加者の職業について見ると、最も多いのは会社員で 32%、次いで専業主婦・主夫で 22%と、この二つで半数を占める。年代別で見ると、30 代～50 代の会社員が多いことがわかる。また 30 代については、会社員と同数の専業主婦・主夫も参加しており、子育て中の母親の参加が多いことが察せられる。60 代・70 代の無職も多く、定年退職後の男性の参加がうかがわれる。

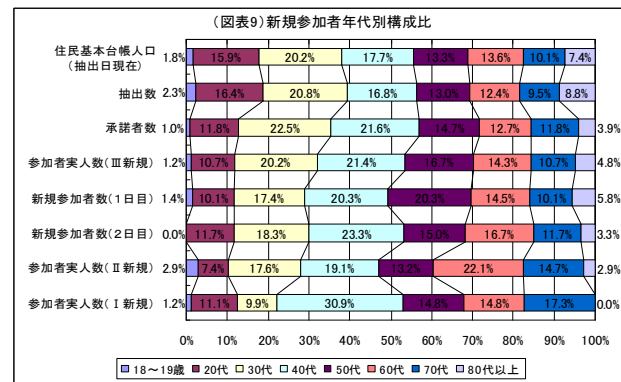
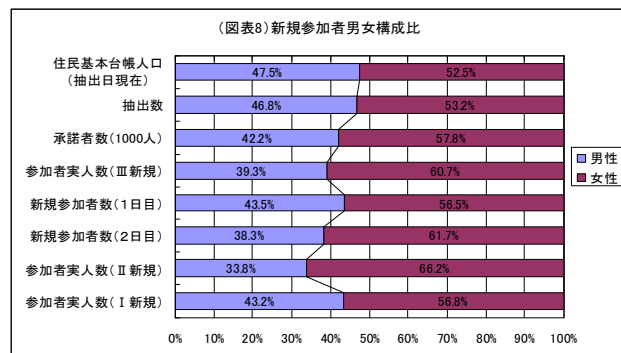


新たに無作為抽出された参加者の状況

右の図表は、今回参加を承諾した方、実際に参加した方のうち、今回新たに無作為抽出された方のみを集計して作成したもの（前回までのワークショップ参加者を除いたもの）である。よって、この数字が、市民（無作為に抽出した 1000 名）の純粋な参加率、参加傾向といえる。

男女の構成をしてみると、ワークショップ I～IIIを通して、抽出数に対してわずかだが男性が低く女性が高い傾向がみられる。

年代別構成（図表 9）を 1 日目・2 日目ごとにみると（参加者実人数（=2 日間の合計）で見ると 1 日のみ参加する方が多い

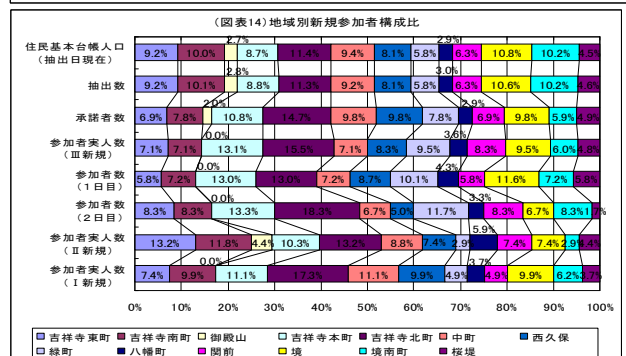
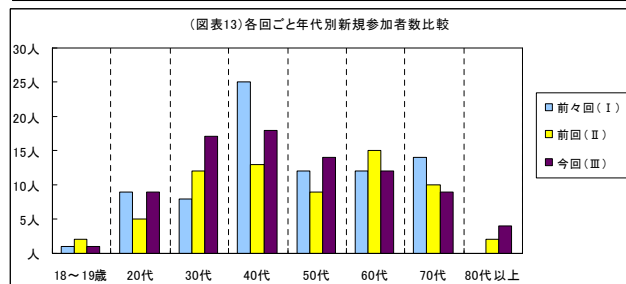
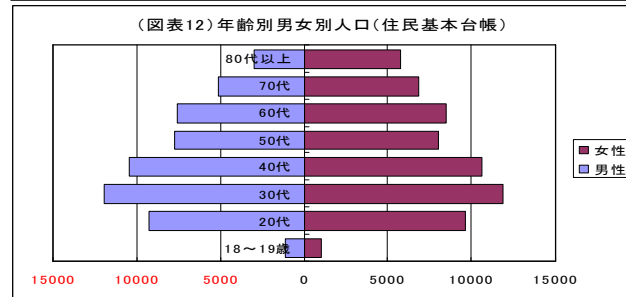
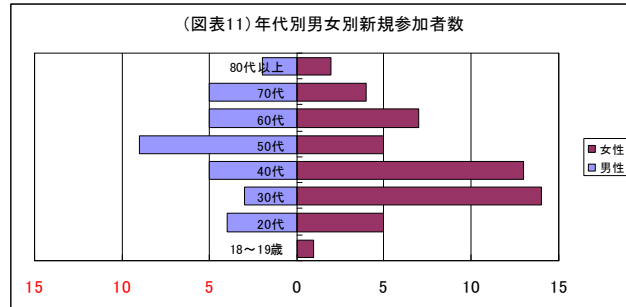
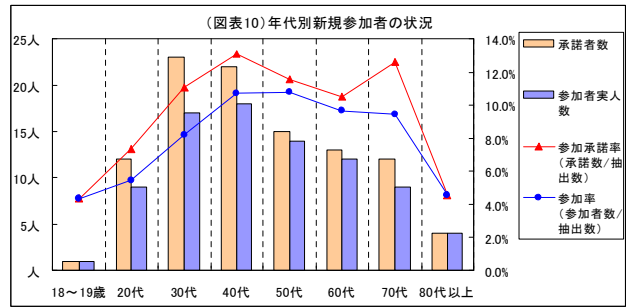


年代の割合が大きくなるため)、住民基本台帳人口と比較して 20 代・30 代の割合が低くなり、40 代以上が高くなる傾向が見られる。しかし、極端な差は見られず、新規抽出に対する新規参加者はミニ武蔵野市を再現できているように見える。参加者の人数（図表 10）で見ても、人口構成ピラミッドとほぼ同じ形で 30 代・40 代の数が多く、その年代を頂点に人数が減っていくことがわかる。30 代、40 代は参加者数が多い一方で、承諾者数と参加者数に開きがあるのが特徴的である。また、前述した前回参加者も含めた今回の参加者全体の構成（図表 3）と比較して、60 代・70 代が少なく見えるが、これは比較的時間に余裕があると思われる 60 代・70 代の参加者が繰り返し参加したためと考えられる。

参加者の構成を性別も勘案してみると（図表 11）、30 代・40 代の女性の参加は多いが、同じ年代の男性の参加者は住民基本台帳人口の構成（図表 12）と比べて著しく少ないことがわかる。また 20 代の参加は男女ともに少ない。男女を合計した年代全体では住民基本台帳人口と似た構成だったが、性別で分けてみると大きく異なる点については、参加者の傾向として把握しておくべき事項で、今後の無作為抽出市民による会議の課題といえる。

各回ごとに年代別の参加者数を比べると（図表 13）、10 代と 50 代以上は各回での変化は少ないが、30 代・40 代については各回で人数に大きな差がある。その回による特別の要因はないため変化の原因は不明だが、いずれの回においても住民基本台帳人口構成どおりにはなっていないことがわかる。

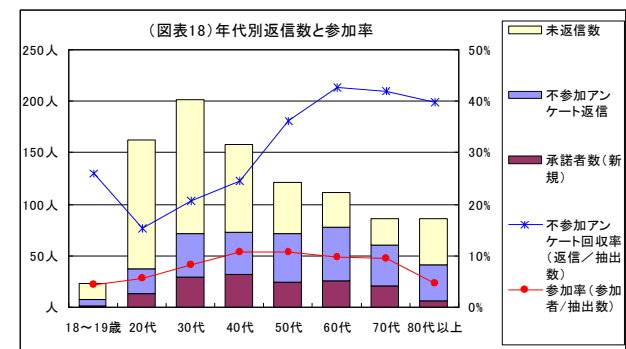
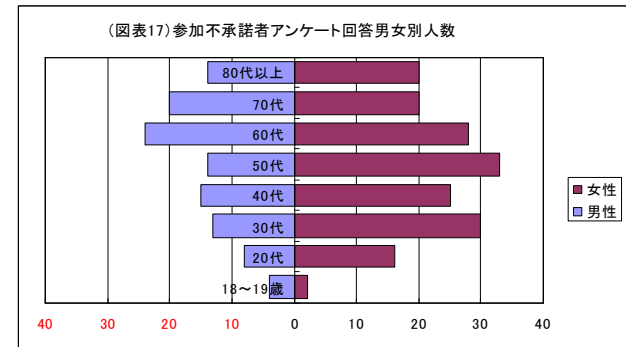
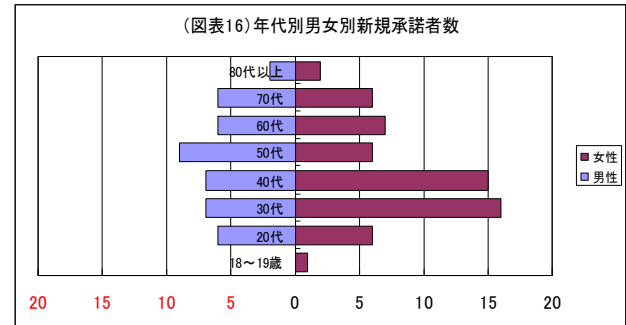
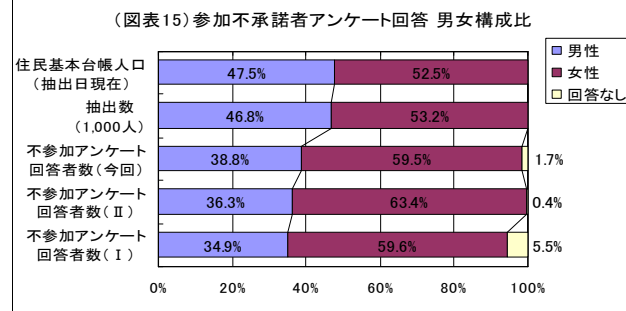
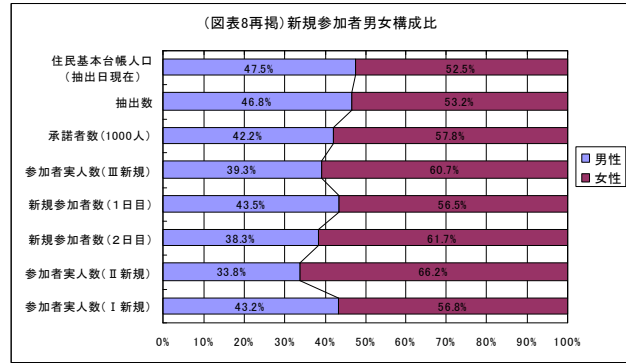
住所別に見てみると、おおむね抽出した比率で参加が見られるが、境南町については全回通して参加者の割合が少ない。これは会場である市役所へのアクセスが悪いことが原因かもしれない。



無作為に抽出した 1000 名の返答率(参加承諾・参加不承諾者のアンケート回答率)

無作為に抽出した市民 1000 名の、ワークショップ参加案内に対する反応を、参加不承諾者のアンケート回答率もあわせて見てみる。参加承諾者(図表 8)については、既に述べたように女性の率が多少高まる。また参加はできないものの、アンケートに回答をした方の割合(図表 15)は、さらに女性が高くなる。年代別・性別(図表 16・17)で見ると、女性は参加承諾については 30・40 代の数が飛びぬけて多く、それ以外の年代は数が減るが、参加不承諾のアンケートについては、その傾向がなくなり住民基本台帳の構成とは異なるが、男性と比べて女性の方が回答率が高い。一方で、男性は、参加承諾、参加不承諾アンケートの回答数ともに、女性と比べて圧倒的に少ない。また男性の年齢構成は、住民基本台帳人口(図表 12)と反対に、人数の多い若年層・現役世代の参加承諾者やアンケート回答数が少なく、人数の少ない高齢層の参加承諾、参加不承諾アンケート返答数が多いことがわかる。改めて男女合計で抽出数に対する反応を数と割合(図表 18)で見ると、抽出数は人口構成どおり抽出されているが、若年層は参加もアンケートも回答せず無反応だった方が多い。一方で、年代が上がるにつれ、

抽出数は少なくなるものの、参加はできなくてもアンケートには回答する率が高くなっており、アンケート回答率は人口構成と反比例していることがわかる。これらは、抽出した方の年代構成は人口構成と同じであっても、実際に参加したりアンケートに回答するなど、案内に対して何かしらの反応する方の構成は、必ずしも人口と同じ構成にはならないことを示しており、ワークショップで出された意見はそういった参加者の構成のもとで出されたものとして斟酌する必要がある。また当日参加する市民が、住民基本台帳に近



い形として会議を開催することを目指すならば、このデータを踏まえて抽出数を調整したり、年代ごとに参加案内の文面を変えるなど、工夫をする必要がある。

5 無作為抽出市民ワークショップの成果・評価

最後となる今回のワークショップの成果・評価については、これまでの1回2回のワークショップを含めた全3回について行いたい。

(1) 参加者を無作為抽出としたことの成果・評価

活発な議論

このワークショップは、市民が自ら手を挙げて参加するのではなく、無作為に抽出された市民が、市からの要請に応じて参加をするという方法により行われた。これにより、参加者は皆同じ立場・条件で議論に臨むこととなり、参加者同士が発言しやすくなり、自由に活発な議論が行われた。参加者から出された意見の中には、市に対する要求のほか、コミュニティセンターに関わっていない人から見たコミュニティセンターに対する印象・意見など、通常の高い方が集まる市民会議では出されない意見もあった。また最後に投票をすることで、グループ内では声の大きい人の意見に左右されることがあったとしても、最終的には投票により自由に自らの意思を表明することができ、参加者の気持ちを表現した意見に投票が集まることで参加者の満足度が高まったと考えられる。



<投票の様子>

参加者の広がり

無作為に抽出された方に参加を要請することで、これまでタウンミーティングや市民説明会等に参加したことのなかった方に参加していただくこともできた。参加者アンケートを見ると、ワークショップⅠでは69%、Ⅱでは73%、Ⅲでは56%の方が、これまでそういった市の計画策定等に参加したことがないと回答していることからわかる。これは、普段あまり声を上げない、多くの市民の意向をつかむという点において大変有効な手法だったと評価できる。

参加することの効果

これまで説明会や計画策定等に関わったことがない人が参加することは、広く意見を伺うという広聴の面だけでなく、参加者が市の現状などを知るといふ広報の面でも効果があり、市政への関心を持っていただくきっかけともなった。話し合い前の情報提供や、投票結果発表の際、市の状況についての職員の説明を聞いて、参加者がうなる場面が見ら



<投票結果発表の様子>

れたり、アンケートにおいても、「今後の武蔵野市について考えるきっかけとなった」「いろいろな市民がいて、いろいろな意見や考え方があることがわかった」との回答が 45% を超え、57.7%の方が「市政や長期計画について関心が高まった」、54.1%の方が「今後の武蔵野市について考える機会となった」と回答していることからわかる。

さらに今後やってみたいこととして、37.5%の方が「タウンミーティングや市民会議に参加したい」、74.1%の方が「第五期長期計画が公表されたら読んでみたい」と回答しており、今後の行動へのつながりも見られている。

(2) ワークショップに用いた手法の評価

前回参加者への参加依頼

本市で今回行った無作為抽出市民ワークショップは、その回ごとに新たに抽出した市民に参加していただくだけでなく、それ以前に抽出されてワークショップⅠ・Ⅱに参加した方にも参加していただいたことに特徴がある。これは、市政への関心を継続していただくために行ったことである。ワークショップⅢでは、前回までの参加者(149名)のうち33名(22%)が参加しており、市政に関心を持ち続けていただいたことが証明された。しかし一方で、同じ参加者に繰り返し声をかけることにより参加者全体の構成に若干の偏りが生じることとなった。

議論する分野の決定手法

議論する分野やグループは、全3回とも当日受付でくじを引いていただいて決定した。今回の長期計画策定過程においては、無作為抽出市民ワークショップ以外にも、分野ごとに関係団体を招請して行う会議や、市民が自由に参加し分野に関係なく自分の意見を発言できる圏域別に行う会議を開催するとともに、パブリックコメントでも意見を伺う機会を設けている。そのため、無作為に抽出された市民が参加するワークショップにおいては、参加者が分野を選ぶのではなく、関心のある人とない人が同じテーブルで意見を交換できる今回のような抽選による方法が妥当であった。しかし、当日の受付でのやりとりやアンケートからは参加者の不満が見られるので、今後よりよい方法を検討する必要がある。

グループワーク

参加者を4～5人で1グループとして、少人数の市民同士での議論としたことは、参加者が話しやすく、また話す時間を均等、かつ十分に持つことができ、活発な議論をするのに効果があった。アンケート結果において、80%を超える方が楽しかったと回答しており、参加者の満足感へとつながったことがわかる。

またグループ内で、付せんや模造紙を



<グループワークの様子>

使って作業をし、意見の発散だけでなく、発表に向けてグループの意見として収束させ合意していく過程や参加者による投票は、これからの市民同士の合意形成にも役立つと考えられる。

ワールドカフェ方式

ワールドカフェという、グループのメンバーを入れ替えて行う手法は、いろいろな意見を聞くことで多くの気づきができ、多面的な視点で話し合いが行われることや議論を深めることに有効であった。また最初のメンバーではうまく議論が進まなくても、メンバーが替わることで円滑に議論が進む場面も見られ、有効だったと言える。

情報提供

ワークショップⅢでは、事前に送付した通知に、全戸配布された市報等で計画案をご覧いただきたい旨を記載した。実際に 76.4%の方が事前に計画案を読んだと回答する結果となり、一定の成果があった。さらに当日

は、分野ごとに要旨や分野内の主な事業の経費・支出等について資料を配布し説明を行った。しかし、その内容については、グループの意見として取り上げた所も見られる一方、大半は、討議要綱の際と同様に、資料も計画案も話し始めるきっかけとなるに留まった。参加者からは、情報提供の資料自体がわかりづらいとの意見も出ており、その点については工夫・改善が必要



< 情報提供の様子 >

であるが、結果として、ワークショップⅠ・Ⅱと同様、背景や現状についての掘り下げが十分でないため、表層的な意見が出やすく、また話し合いが拡散する傾向が見られた。より深い議論をしていただくための情報提供については研究していく必要がある。

報酬について

ワークショップは全3回とも、一日につき 4,000 円の謝礼を支払った。ドイツで行われるプラーヌクスツェレでは、有償とすることで、仕事を休むことに対する所得保障をして、参加者に「責任ある仕事」として取り組んでもらうためという考えから、それに見合った金額が支払われるようであるが、本市においては東京都内で行われている他自治体の事例を参考にしながら金額を設定した。有償とした背景には、これまで市政にあまり関心がなかった方にも参加していただくことで、新しい意見を聞くことができるとともに、これをきっかけにその後の市民参加につながるのではないかと期待があった。また、無償にした場合は、比較的市政に関心が高い方（これまで行ってきた自由参加の市民会議の方法でも参加する方）の参加率が高く、これまで参加をしたことがないサイレントマジョリティーの参加率が低くなり、その方たちの意見を聞くことができないのではないかと危惧があった。結果として、参加者アンケートにおいて、15名（13.4%）の方が「報酬がよかった（魅力的だった）から」参加したと回答しており、報酬には一定の効果があった。一方で、参加不承諾者からは「報酬がなければ参加した」

「我々の税金を無駄に使わないで欲しい」との意見も見られ、有償とするのか無償とするのか、また有償とした場合の適当な金額については研究が必要である。

(3) 無作為抽出市民ワークショップの今後の課題

無作為抽出市民会議で議論してもらいたい内容と時期

今回、本市で行った無作為抽出市民ワークショップの手法では、その場で感じたこと・考えたことを自由に話し合ったため、市民の自由意見という色合いが強かった。このやり方は、計画策定等の最初の時期など、まだ議論の方向性が決まっていない段階で、市民がどのようなことに関心があるのか、どのような点に課題を感じているのか、ということを知りたい。今回で言えば、ワークショップⅠのテーマである「市の将来像」というような、制約がなく広く自由な議論ができる内容であれば、参加者が様々な関心事について存分に意見を出すことができ、市民の意見や感覚を伺うのに大変有効である。また参加者の満足度も高まる。

一方で、一定のテーマや議題に限定して掘り下げた議論を行う場合には、ドイツのブラウンクスツェレのように、事前の資料送付や当日の情報提供を十分に行い、議論するポイントを絞って行う必要がある。今回、計画案についてのワークショップⅢで行った情報提供では十分とは言えなかった。テーマに沿ったより深い議論をしていただくためには、しっかりと時間を取り十分な背景説明等を行うことと、併せて、グループ内の議論が脇道に逸れず円滑に進められるようにファシリテーターを配置することも有効かもしれない。しかし、事前に資料を読むことや全体の時間が長くなることは、難しそうと気後れしたり貴重な休日の時間が奪われるなど、参加者にとって負担が大きくなり、参加しやすさという点で課題がある。

分野の決定方法

分野の決定方法は当日抽選としたが、他にも予め指定する方法や参加者が選択する方法等も考えられる。

分野を予め指定する方法は、分野が分かっていることで、事前に準備をして、当日はより深い議論が期待できるという利点がある一方で、関心のない分野に指定されたため参加を取りやめる方が出る可能性もある。

参加者が分野を選択する方法は、その分野について話したい人が集まり、参加者の満足度も高まると考えられる。しかし一方で、詳しい方や利害関係者が集まりやすく、利害と関係ない方や、その分野に関心がない方の意見が少なくなり、全市民の縮図の会議とならず、いろいろな立場・環境の人たちが同じテーブルで意見を出し合うというメリットが損なわれる可能性がある。さらに、特定の分野に参加者が集中したり、反対に人が集まらない分野ができる可能性もある。

分野の決定方法については、場面や状況によって検討が必要である。

ワールドカフェ方式

メンバーを交代することは、視野を広げ、視点を変え、活発な議論を展開するには有効であるが、一方で偏った意見や誤った情報も全て広がっていくというリスクもある

ので、活用する場面の精査やコーディネートの方法などの検討が必要である。

無作為抽出方式の活用

無作為に選ばれた市民による会議の手法は、これまで聞くことができなかったサイレントマジョリティーの意見を聞くことができるという大きなメリットがある。この特性を活かして、計画策定過程での市民意見の確認など、今後様々な場面での活用を図ることが望まれる。またその主体は必ずしも市である必要はなく、他市に見られるように青年会議所等との共催や委託など他の主体と連携して行うこともできる。市が主催にならないことで、より気軽に参加できるようになるかもしれない。

新たな手法の研究

無作為に抽出された市民による会議は、本市では今回が初めての取組みで、必ずしもこれが最良の方法ではない。長期計画策定はこれで終わりとなるが、無作為に抽出された市民による会議は、市民の意見を聞く方法として有望で、そのやり方によっては今以上の成果が得られる可能性がある。広範で多様な市民の方からの意見を伺い、有効で実りのある会議となるよう、内容や手法について研究し、より良い方法を模索していきたい。

プラーヌンクスツェレ：ドイツで始まった市民参加の手法の一つで、無作為抽出で選ばれた市民が、一定期間、有償で、解決可能な計画に関する課題について話し合い、一定の結論を出す方法。

資 料

1 参加者属性

(1) 性別参加者数 ()内は新規抽出者数

性別	住民基本台帳人口 (抽出日現在)	抽出数	承諾者数	参加者の実人数	参加者数 1日目	参加者数 2日目	前回(I・II) 参加者数
男性	56,198	468	61(43)	46(33)	42(30)	36(23)	13
女性	62,154	532	90(59)	71(51)	57(39)	53(37)	20
計	118,352	1,000	151(102)	117(84)	99(69)	89(60)	33

(2) 年代別参加者数 ()内は新規抽出者数

年代	住民基本台帳 人口 (抽出日現在)	抽出数	参加 承諾者数	参加承諾率 (承諾数 /抽出数)	参加者の 実人数	参加率 (参加者数 /抽出数)	参加者数 1日目	参加者数 2日目
10代	2,171	23	1(1)	4.3(4.3)%	1(1)	4.3(4.3)%	1(1)	0
20代	18,846	164	13(12)	7.9(7.3)%	10(9)	6.1(5.5)%	8(7)	8(7)
30代	23,872	208	29(23)	13.9(11.1)%	22(17)	10.6(8.2)%	16(12)	15(11)
40代	20,991	168	32(22)	19.0(13.1)%	24(18)	14.3(10.7)%	19(14)	19(14)
50代	15,729	130	24(15)	18.5(11.5)%	20(14)	15.4(10.8)%	20(14)	14(9)
60代	16,049	124	25(13)	20.2(10.5)%	21(12)	16.9(9.7)%	19(10)	18(10)
70代	11,942	95	21(12)	22.1(12.6)%	14(9)	14.7(9.5)%	11(7)	12(7)
80代 以上	8,752	88	6(4)	6.8(4.5)%	5(4)	5.7(4.5)%	5(4)	3(2)
合計	118,352	1,000	151(102)		117		99(69)	89(60)

(3) 町目別参加者数 ()内は新規抽出者数

町名	住民基本台帳 人口 (抽出日現在)	抽出数	参加 承諾者数	参加者の 実人数	参加者数 1日目	参加者数 2日目	前回(I・II) 参加者数
吉祥寺東町	20,849	92	17(7)	11(6)	9(4)	9(5)	5
吉祥寺南町	22,632	101	10(8)	7(6)	6(5)	6(5)	1
御殿山	6,075	28	3(2)	0	0	0	0
吉祥寺本町	19,585	88	19(11)	16(11)	13(9)	13(8)	5
吉祥寺北町	25,676	113	24(15)	20(13)	16(9)	16(11)	7
中町	21,239	92	13(10)	9(6)	8(5)	7(4)	3
西久保	18,290	81	14(10)	11(7)	9(6)	7(3)	4
緑町	13,023	58	11(8)	9(8)	8(7)	8(7)	1
八幡町	6,626	30	4(3)	3(3)	3(3)	2(2)	0
関前	14,248	63	9(7)	9(7)	6(4)	7(5)	2
境	24,310	106	14(10)	11(8)	10(8)	6(4)	3
境南町	23,015	102	7(6)	6(5)	6(5)	6(5)	1
桜堤	10,213	46	6(5)	5(4)	5(4)	2(1)	1
合計	225,781	1,000	151(102)	117(84)	99(69)	89(60)	33

2 参加者アンケート集計結果

(有効回答数：127件)

1 ご自身について回答をお願いします。

(1)性別

項目	人数	比率(%)
① 男性	52	40.9%
② 女性	74	58.3%
回答なし	1	0.8%
合計	127	

(2)年齢

項目	人数	比率(%)
① 10代	2	1.6%
② 20代	10	7.9%
③ 30代	23	18.1%
④ 40代	25	19.7%
⑤ 50代	20	15.7%
⑥ 60代	26	20.5%
⑦ 70代	13	10.2%
⑧ 80代以上	6	4.7%
回答なし	2	1.6%
合計	127	

(3)ご住所

項目	人数	比率(%)
① 吉祥寺東町	10	7.9%
② 吉祥寺南町	6	4.7%
③ 御殿山	0	0%
④ 吉祥寺本町	17	13.4%
⑤ 吉祥寺北町	22	17.3%
⑥ 中町	13	10.2%
⑦ 西久保	12	9.4%
⑧ 緑町	9	7.1%
⑨ 八幡町	4	3.1%
⑩ 関前	10	7.9%
⑪ 境	11	8.7%
⑫ 境南町	8	6.3%
⑬ 桜堤	5	3.9%
合計	127	

(4)ご職業

項目	人数	比率(%)
① 会社員	41	32.3%
② 公務員	2	1.6%
③ 自営業	7	5.5%
④ パート・アルバイト	13	10.2%
⑤ 専業主婦・主夫	28	22.0%
⑥ 学生	5	3.9%
⑦ 無職	19	15.0%
⑧ その他 ・弟の介護 ・画家 ・NPO ・退職 ・研究者 ・看護師 ・年金生活	9	7.1%
回答なし	3	2.4%
合計	127	

(5)武蔵野市での居住年数

項目	人数	比率(%)
① 1年未満	4	3.1%
② 1年以上5年未満	17	13.4%
③ 5年以上10年未満	14	11.0%
④ 10年以上	89	70.1%
回答なし	3	2.4%
合計	127	

2 参加された感想をお聞かせください。

項目	人数	比率 (%)
① おもしろかった。楽しかった。	107	84.3%
② おもしろくなかった。つまらなかった。	1	0.8%
③ どちらでもない。	10	7.9%
④ その他 ・ 武蔵野市について考える機会だった ・ ためになりました。 ・ 自分の勉強になった ・ 大変勉強になった（最近の事情がわかった） ・ 楽しかった。だけど、人によって興味ない顔を ろこつ にされてイヤな気分になりました・・。 ・ テーマが決められてしまうので言いたいことが 言えない不満も残る ・ 責任もあり緊張も感じた	3	2.4%
回答なし	6	4.7%
合計	127	

3 ワークショップに参加される前に計画案（市報特集号を含む）を読まれましたか？

項目	人数	比率 (%)
① 読んだ ・ 全部：30人 ・ 一部：59人 ・ 不明：8人	97	76.4%
② 読んでいない	29	22.8%
③ その他 ・ ザッと目を通した程度	1	0.8%
合計	127	

4 計画案について、興味がわいた分野、気になった項目はどれですか（いくつでも）

項目	人数	比率 (%)
① はじめに	1	0.8%
② 第1章 市勢	15	11.8%
③ 第2章 長期計画策定方式	14	11.0%
④ 第3章 これまでの成果	11	8.7%
⑤ 第4章 基本的な考え方、市政を取り巻く動向、基本課題	26	20.5%
⑥ 第5章 重点施策	12	9.4%
第6章 施策の体系		
⑦ I 健康・福祉	54	42.5%
⑧ II 子ども・教育	54	42.5%
⑨ III 文化・市民生活	41	32.3%
⑩ IV 緑・環境	29	22.8%
⑪ V 都市基盤	38	29.9%
⑫ VI 行・財政	20	15.7%
⑬ 第7章 財政計画	8	6.3%
⑭ 資料 策定の流れ	5	3.9%
回答なし	11	8.7%
合計	127	

5 今回のワークショップの感想（興味を持たれたこと、印象に残ったことなど）を自由にご記入ください。

- 運営がもう少しわかりやすく意見を出しやすい方法を研究してほしい →非常にお役所的。一般の会社でもまれている人はもっと人の意見を上手に聞き出す方法を考えると思います。
- 意見が異なる人がいない。批判的な話題が出ないのが気になる。
- いろんな方と意見をかわすことができ、良い経験になりました。
- 多くの市民の方がしっかりと市政（地域について）に関心があると思いました
- 参加テーマをえらぶ自由が欲しい、抽選は駄目
- あらかじめ自分の興味がある分野をアンケートでとっておき、当日もその分野に参加した方が、より良い意見が出るのではないのでしょうか
- 皆さんもっとコミュニティ、関わりをまわりの方と持ちたいと思っていることが生の声としてわかりました。情報が欲しいのにうまく伝わっていない現状が多く、みなさんもっとわかりやすくして欲しいと思っているんだなあ、と思いました。ネットの充実（検索しやすい）早急に対応して欲しいです。又少子化対策として不妊治療の意見は是非実現してあげて欲しいです！すごく良い案だと思いました。
- 0123について
- メンバーのグループ分けを抽選で決めるのはどうか。参加者は世間百般に通じているものではなく、興味・関心のある項目は限られているものと思われる。応募の際に「希望」項目を出させてはどうか。
- テーマを知らず無作為に抽選された方々で、いろんな年齢の方、男性・女性様々でいろんな意見があり、面白かった。武蔵野市のことでも初めて知ることも多く勉強にもなった。参加してよかったと思う。
- どんなサービスが受けられるのか、市報だけでは足りないと思っていたが、同様の意見の人が多く「情報」の発信の仕方があちらこちらで話題になっていると思った。
- メンバーの発言に啓発された。
- 子どもの体づくり、居場所、自発性を育むシフトの充実、様々な人との交流をよりスムーズにできる街づくりを期待したいです。
- 子どもの数が少ないのを改めて認識いたしました、何とか数が増える様
- 参加する本人及びまわりのお母様たちの意見を持ってきて話すことができました。
- 事務局の方おつかれさまでした。
- 福祉の方の意見があったが、教育になったので、あまり意見が出せなかった。
- 子育てが終った世代だったので、より現役の人達の意見の方が良い案が出たのではと思いました。
- 現在子育て中の方とこのような場をもてるといいと思った（子ども・教育）。現在子育てにかかわってなく、現状を知らない方とおはなしするとき、まず説明から入らなければならないし、説明で終わってしまいそれが発展しづらいため。
- 今回で3回目の参加です。回を重ねる程に理解が進むようで、楽しませて頂いております。
- 面白いシステムだけど少数意見が埋もれてしまう。「楽しんで下さい」説明には疑問。真剣に検討すべきもの。
- 子ども・教育の大切さを改めて痛感した。 ※興味のある分野を選択させる方が良い。
- 初めての参加でしたが、とてもいろいろなテーマがあり、興味が出ました。 2 参加者アンケート集計結果 ちにしていきたい。
- 前もって分野を決めていただいた方がやりやすかったかも。いろいろな方の考えを聞くことができ、おもしろかった。
- みんなでまとめるので個人的な意見・少数意見は反映されにくいので残念です。グループでいろいろな意見を話し合える交流の場としては良いと思います。
- 異年齢の年代の方々と共有するテーマで話し合いができた。これは大変面白く、問題意識が高まったと思われる。ありがとうございました。
- この様な機会をつくっていただいて、とても良かったと思います。
- 武蔵野市に引っ越してきたばかりですが、市について興味を持つことができました。また、ワークショップ

プとして市民の意見をヒアリングする市の姿勢は素晴らしいと感じた。メンバーと楽しく会話できて、有意義な時間だった。

- 色々な方々との意見の交換が出来たことが良かった。
- 近くて遠いコミセン。
- 今回のワークショップは色々な方の意見が聞けて良かったと思います。
- いろんな世代の方がいた中で話し合うことは良かった。年寄が集まると自分のことばかりに話が行き、会の内容にたどりつくまで時間がかかった。話し合い方についてこういうふうにするのか・・・とちょっと安心、もっと難しく考えていた。
- 少子化や高齢化には有意義な意見が話し合われてましたが、障害者への支援など意見がかなり少ないように思えました。私は武蔵野市の手話講習会に通ってますが、あきらかに講習会の回数が少なく、また聾者と接する機会も少なすぎると思います。（他市他区はもっと充実しているときいています）特に初級に関しては倍の回数があるのも良いと思います。武蔵野市から障害者にやさしい町を作ってください。
- プレゼンテーションの音が良く聞こえてよかった。他のテーマグループの内容も知りたかった。
- 市民参加の一つに初めて参加して、市民のポテンシャルの高さに感心しました。今後とも多くの方に参加して欲しいと思いました。
- もっと機会を増やして下さい。
- 市民の施策に関わる意見を聞き、意識のレベルが高いことがわかった。
- 前回の結果が生かされているのか不明、市の意見も聞きたい
- 世代によって求めるものが違うのだと再認識しました
- 事前に計画案を読ませてほしかった。自分が参加したいセクションをえらべれば良かった。
- みなさん、考えている事、思っている事が共通していると思った。市報のみでなく告知不足が深刻だと思いました。
- 地域のつながりが大切と考えている人が多い（ほとんど全員？）ことにおどろきました。つながりたから情報をもっと欲しいと考えている方が多くいらっしゃいましたので、対応して頂きたいです。
- 地域で趣味を生かしたり、新しい趣味を見つけられるようなシステムがやりやすくなるといいです
- 色々な方の意見がきけておもしろかった。
- 様々な年齢の方と意見を出し合うことができ、とても勉強になりました。
- もう少し時間がほしかった
- 初回よりも年代の幅がひろがった様に感じました。とても良いことだと思います。震災前後で、みなさんのコミセン・地域に対する思いに少し変化があったように思います。もっと仲の良い、というか、協調性のある市民になっていきたいと思います。
- 日頃交流のない世代との意見の交流が出来、自分の世代とは異なった関心事が分った。
- 模造紙に書き込む時のタイトルは自分たちの好きなように書かせてほしい。話し合った内容がねじまげられてしまった。
- 様々な年代の方々が集まり、議論出来たのはとても良かった。このワークショップの意見がどのように反映されるか楽しみにしたい。
- 子供とかの分野の選択をできるとよかった。世代の違う人々の意見がきけてよかったし、興味深く感じました。若い女の子が、小学校までは色々な機会が充実していて楽しい思い出が多いが、中高生の遊ぶところや、やる事などが少なくて、心離れると言っていたのが印象的でした。ずーっといいこと思っていたい。
- 総花的な感じがしたが、話し合ってみると、重要な部分に対する認識は同じなのだということがわかって興味深く感じた。
- 世代を超えた人達と意見を交わすことができ、市政の知らない部分を共有することができた。市の取り組む姿勢を感じる事ができた。
- 立場の異なる人の意見は参考になった。コミュニティでつながりたい人が多い反面、しきいを感じている人が多かった。
- ワールドカフェ（注）をやるなら、もう1回シャッフルしても良いと思う。（時間が許せばですが。）また発表でももう少し互いに意見交換できると良い。市民として何ができるか「問い」を投げかけて

も良かった。

- 迷いましたが、参加して良かったです。やはり武蔵野市は、市民が聞けば応えてくれる色々なものがあるのにもかわらず、あまりにも情報が市民に届いていない気がします。
- 商業の活性化とムーブスをむすびつけること。インフォメーションの設置とコミセンをむすびつけること。防災態勢の強化—放射能測定器の活用、貸し出し情報公開の重要性を感じました。
- 多くの方と知り合えてとてもよい経験となりました。色々な話が聞けて勉強になりました。
- 市内のいろいろな立場の方がいるので、市民の様々な考えがあるとわかり、考えさせられます。NPOなどで福祉に関わっていると温度差もあり、参考になります。
- 地域のつながりの重要性は多くの人が認識しているながら具体的に進めていくのは難しいのかな・・・と感じました。
- いろいろな地域に住む色々な年代の方と話せ、今迄知らなかった事についてお話が聞けて良かった。
- コミセン運営委員として、コミセンの活動が知られていないのは、広報やイベント内容を再考すべきかもしれない。同様に、市や社協の活動も知られておらず、地域のつながりや支え合いをどう進化させていくか、難しい課題だが注目していこうと思った。
- 10年先を見据えた行財政計画に視点をおいた議論をすべきかと思う
- この意見がどのように市政に役立つのかをわかりやすく発表してほしい
- 発表用シートの3つのトピックの冒頭に施策タイトルを書き写させるのではなく、各グループで出た意見をまとめた独自のタイトルを書いた方が分かりやすい（投票時も含めて）
- 自転車問題が深刻だと改めて感じました
- 事前にどのセクションの話し合いがあるか通知していただきたい
- 昨年の11月から参加しておりますが、最終の「まとめ」に時間が足りない（あと10分）
- 武蔵野市のことをあらためてよく知る機会になりました。問題意識が高まった。市のことが好きになりました！とてもよい施策なので是非続けてほしい。
- やはり思うことは皆同じで、最近自転車の事故が多く、特に自動車を運転していると町角からとび出して来る自転車にひやりとします。
- 普段市政に関する事がないが、このようなワークショップに参加でき、市の考え方が分った事、自分の意見が言えたこと、皆さんの意見が聞けた事、非常に有意義だった。
- 市の下水システムの現状を初めて知った。駐輪場設備が弱者に使いづらいとの意見に同感。
- 自分にとって縁遠い参加と思っていたが、いろんな人との話し合い・考えに触れて、又参加し市政に関心を持ちたいと思った。
- このようなことをやっている、ともっと公表したらいいと思います。今回の意見などが少しでも参考になってよりよい市になればと思いました。
- 仕事でほとんど市内にいないので、市がこういう状況なんだ、こういうところなのだわかったので楽しかったです。私自身は、都下の某市の方が仕事上おつきあいが深いのですが、やはり武蔵野市は豊かだと思いました。
- 武蔵野市の歳入歳出について興味がわいた。色々な人と意見交換が出来て良かった。
- 8月に武蔵野市に引越してきたばかりですが、市に興味を持つきっかけになった。機会があれば、また参加したい。
- 自転車駐輪場の不足については全グループが同じような意見だった。やはり関心が高いし必要性もあるんで作ってほしい。
- 都市基盤：最大の問題は道路（五日市街道・井の頭通り）自転車専用レーンがほしいが、現状では無理。電柱など地中化することをぜひ実現してほしい。3駅特に吉祥寺駅、南口再開発をぜひベストな形で実現してほしい。公会堂の建替え、駅周辺の回遊道路整備など、魅力をより一層高める工夫をお願いしたい。
- やはり自転車道路の問題。安全で生活出来ること。街の景観にもっと関心があるかと思ったのに
- 皆さん市政に強い関心を持っているのを心強く思う。
- 皆が出した意見をどこ迄くみ取れるのか。くみ取る意思が市にあるのか疑問。
- 市内の様々な地域に住む方の意見を聞くことが出来て良かったです。話し合いの中でも出ていましたが、もっと情報提供の充実をすれば、よりよい市政が行われると思います。発表に入りきらなかった

意見に良い物があるかもしれないので、もれのないよう取り入れて計画案を考えて欲しいです。

- 市行政や市民の声を色々聞けて良かった
- 参加された方々が、今後も武蔵野市を全国一番であり続けたいという思いが、発言に、提案に感じられ、非常に共感出来た。
- どのグループも考えている事が似ているし、望む事も皆同じだと考え、今日来て良かったです
- 子供が小さいので放射能が心配。公園の整備（蚊が多い）。
- 下水処理については初めて知ったのでとても驚きました。税収入を増やすために何をすべきか市民が考える必要があると再確認しました。
- 市の情報はホームページに色々載っている事を知り、今後、自分の住んでいる市についてもっと興味を持っていこうと思いました。
- 色々な方の意見を聞くことができ、楽しかったです
- 初めて参加したので始めは分からなかったが、色々話ししている間に楽しくなってきた。
- 長くから武蔵野市に住んでいらっしゃる方が、より市政に関心があり、意見を持っていると思いました。
- より良い市にするために、色々な人の意見を聞けて良かった。市の中でも地域によってかなり違いがあるのがわかった。

注) ワールド・カフェとは、少人数に分けたテーブルで自由な対話を行い、ときどき他のテーブルのメンバーとシャッフルして対話を続けながら、参加する全員の意見や知識を集めることのできる会議手法の一つ。

↓このあとの質問は、新規参加者にお答えいただきました。(任意で前回参加者にもお答えいただきました)

6 今回、参加をお決めいただいた理由は何ですか？(いくつでも)

(回答数：112件)

項目	人数	比率(%)
① 無作為に抽出された市民が集う会議に興味があったから。	54	48.2%
② 市政に興味があったから。	48	42.9%
③ 長期計画やその策定過程に興味があったから。	30	26.8%
④ 市民として何か活動してみたいと思っていたから。	49	43.8%
⑤ 報酬がよかった(魅力的だった)から。	15	13.4%
⑥ 日ごろ感じていることについて他の市民と話してみたかった、意見を聞いてみたかったから。	54	48.2%
⑦ たまたま日程が合ったから。	13	11.6%
⑧ その他 ・前回・前々回参加してみて面白く、今後長く住むつもりの方に、より興味・関心を持たれたから。 ・日頃、こうして欲しいという要望を伝えられたから。 ・行政法を勉強していて、行政の市民参加に興味があった ・ワークショップの進め方に興味がありました。集まる市民の方に興味があった。 ・福祉について、特に障害者福祉の推進をして欲しいと思っているので ・以前他の市でこういった会に参加していたので(報酬はありませんでした)	7	6.3%

7 これまで市の計画策定や施策決定の場面に参加されたことはありますか？（いくつでも）
（回答数：105件）

項目	人数	比率 (%)
① 計画策定等の委員として参加	6	5.7%
② 計画策定等の委員会の傍聴	2	1.9%
③ 個人としての意見提出（パブリックコメント等）	8	7.6%
④ 団体（NPO・コミュニティ協議会など）として意見提出	5	4.8%
⑤ タウンミーティングに出席	15	14.3%
⑥ 市民（住民）説明会に出席	11	10.5%
⑦ 参加したことがない	72	68.6%
⑧ その他 ・過去ワークショップに参加（3名）	3	2.9%

8 ワークショップ参加依頼書をご覧になる前、武蔵野市の基本構想・長期計画(第四期)についてどの程度ご存知でしたか。

（回答数：110件）

項目	人数	比率 (%)
① 全く知らなかった。	43	39.1%
② 名前だけは聞いたことがある。見たことがある。	27	24.5%
③ 読んだことがある。	38	34.5%
④ その他	2	1.8%

9 平成23年2月に公表した討議要綱をご覧になりましたか？

（討議要綱：第五期長期計画の策定にあたり、議論すべき課題等をまとめたもの。）

（回答数：107件）

項目	人数	比率 (%)
① 全く知らなかった。	45	42.1%
② 名前だけは聞いたことがある。見たことがある。	26	24.3%
③ 読んだことがある。	36	33.6%
④ その他	0	0%

10 今回、ワークショップに参加されて、どのようにお感じになりましたか？（いくつでも）

（回答数：111件）

項目	人数	比率 (%)
① 市政や長期計画について関心が高まった。	64	57.7%
② 市の計画等の策定過程に関わることに興味がわいた。	40	36.0%
③ 話し合いのテーマに関する分野について関心が高まった。	52	46.8%
④ 今まで知らなかった人（市民）と知り合うきっかけとなった。	48	43.2%
⑤ 今後の武蔵野市について考える機会となった。	60	54.1%
⑥ いろいろな市民がいて、いろいろな意見や考え方があったことがわかった。	58	52.3%
⑦ 何も感じなかった。	2	1.8%

⑧ その他 ・意見が市政に反映されるのか、かつて反映されたことがあるのか。 ・市のこういう取組に感心した。市民に市政に関心をもってもらおう and 市民同士のネットワークを作るよい試みと感じた ・この意見が本当にどの程度反映されるのかが気になる。特に多く 上がっているものに関しては反映される場合、なぜかが知りたい。	3	2.7%
---	---	------

11 今後やってみたいと思うことはありますか？（いくつでも）

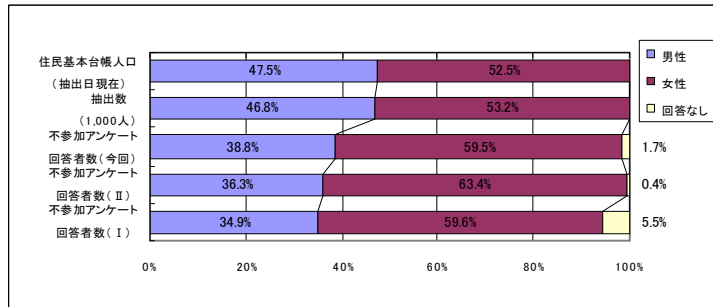
（回答数：112件）

項目	人数	比率 (%)
① 第五期長期計画が公表されたら読んでみたい。	83	74.1%
② 第五期長期計画以外の様々な計画策定にパブリックコメントなど意見を提出したい。	19	17.0%
③ タウンミーティングや市民会議に参加したい。	42	37.5%
④ 計画策定の公募市民委員になってみたい。	20	17.9%
⑤ 特にやりたいことはない。	6	5.4%
⑥ その他 ・もっといろいろな声を聞きたいと思いました。 ・自転車を捨てて外に出よう ・市民同士の意見交換の場に積極的に参加したい。市に何か貢献していきたい。 ・実施を見守りたい ・こういった機会があれば是非参加したい	6	5.4%

3 参加不承諾者アンケート集計結果（有効回答数：294件）

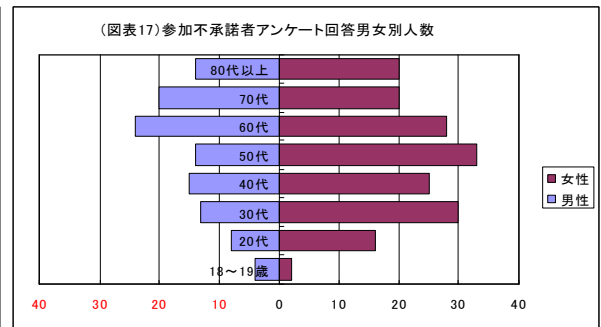
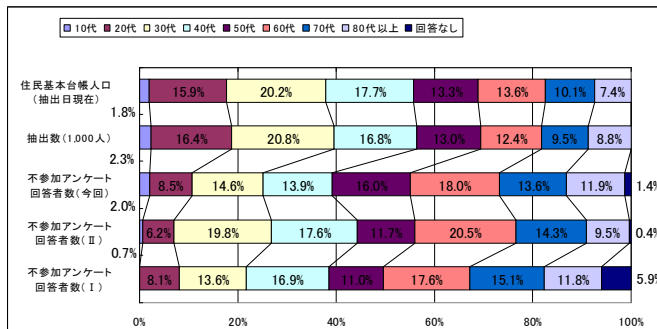
アンケート回答者の属性

性別



	男性	女性	回答なし	計
住民基本台帳人口 (抽出日現在)	56,198	62,154	—	118,352
抽出数	468	532	—	1,000
不参加アンケート回答者数(今回)	114	175	5	294
不参加アンケート回答者数(Ⅱ)	99	173	1	273
不参加アンケート回答者数(Ⅰ)	95	162	15	272

年齢別



	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	回答なし
住民基本台帳人口 (抽出日現在)	2,171	18,846	23,872	20,991	15,729	16,049	11,942	8,752	
抽出数	23	164	208	168	130	124	95	88	
不参加アンケート回答者数(今回)	6	25	43	41	47	53	40	35	4
不参加アンケート回答者数(Ⅱ)	2	17	54	48	32	56	39	24	1
不参加アンケート回答者数(Ⅰ)	0	22	37	46	30	48	41	32	16

1 ご自身について回答をお願いします。

(1) 性別

項目	人数	比率(%)
① 男性	114	38.8%
② 女性	175	59.5%
回答なし	5	1.7%
合計	294	

(2) 年齢

項目	人数	比率(%)
① 10代	6	2.0%
② 20代	25	8.5%
③ 30代	43	14.6%
④ 40代	41	13.9%
⑤ 50代	47	16.0%
⑥ 60代	53	18.0%
⑦ 70代	40	13.6%
⑧ 80代以上	35	11.9%
回答なし	4	1.4%
合計	294	

(3) ご住所

項目	人数	比率(%)
① 吉祥寺東町	25	8.5%
② 吉祥寺南町	30	10.2%
③ 御殿山	9	3.1%
④ 吉祥寺本町	19	6.5%
⑤ 吉祥寺北町	33	11.2%
⑥ 中町	30	10.2%
⑦ 西久保	23	7.8%
⑧ 緑町	15	5.1%
⑨ 八幡町	7	2.4%
⑩ 関前	16	5.4%
⑪ 境	41	13.9%
⑫ 境南町	26	8.8%
⑬ 桜堤	17	5.8%
回答なし	3	1.0%
合計	294	

(4) ご職業

項目	人数	比率(%)
① 会社員	57	19.4%
② 公務員	5	1.7%
③ 自営業	16	5.4%
④ パート・アルバイト	30	10.2%
⑤ 専業主婦・主夫	74	25.2%
⑥ 学生	13	4.4%
⑦ 無職	61	20.7%
⑧ その他 ・作家 ・相談役 ・不動産貸付 業 ・行政書士、画家 ・シルバー の仕事 ・教員 ・不動産業 ・会 社役員 ・年金生活 ・看護師 ・ 医師 ・大学教員 ・団体職員 ・作 業所 ・主婦、声楽家 ・農業 ・ アパート経営 ・母の介護	25	8.5%
回答なし	13	4.4%
合計	294	

(5) 武蔵野市での居住年数

項目	人数	比率(%)
① 1年未満	13	4.4%
② 1年以上5年未満	29	9.9%
③ 5年以上10年未満	39	13.3%
④ 10年以上	208	70.7%
回答なし	5	1.7%
合計	294	

2 「武蔵野市第五期基本構想・長期計画無作為抽出市民ワークショップ」の参加依頼書を見た時、どのようにお感じになりましたか。

項目	回答数	比率 (%)
① おもしろそう。	115	39.1%
② つまらなそう。	0	0.0%
③ あまり関心がない。興味がわからない。	66	22.4%
④ 何のことかよくわからない。	52	17.7%
⑤ その他	47	16.0%
回答なし	14	4.8%
合計	294	

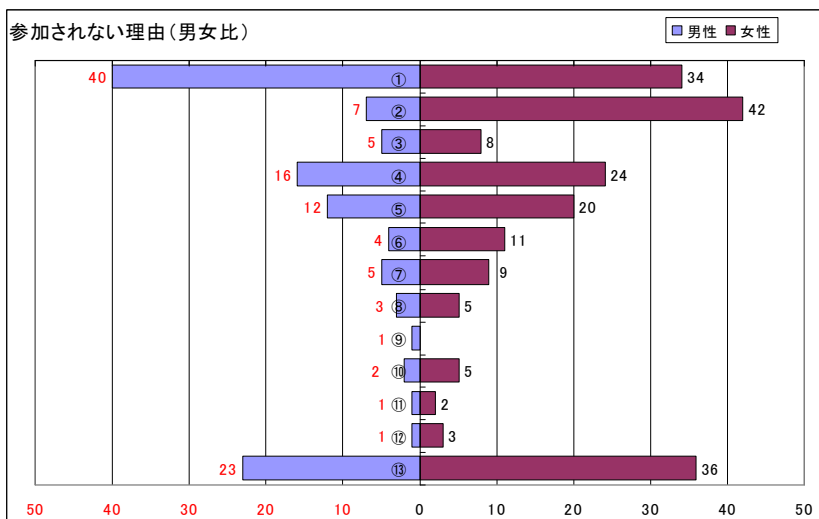
『⑤その他』の回答：

- よいことだと思いました。
- 興味はありますが、年齢的に無理と思います。
- 高齢すぎて判断できない
- 自分の意見が形となって市政に反映されたらうれしいと思った。
- 面白いとか詰まらないとか質問する方がナンセンスだろう。(この質問自体が意味がない。) 大切なことなのだから、謝礼も必要ないと思う。
- ただ意見を聞くだけでは、よいものはできない。
- 無意味だ、そのワークショップの結果が市政にほんとうに反映するのかと思った
- この様な企画があった事を知りませんでした。
- このテーマ 10 年計画について、自発的に意見・考えを提出できるように、しくみ・窓口を設けるべき。
- 書類の説明がわかりにくいし、かた苦しい。これでは若年層は参加しないと思います。
- 幅広く市民の意見を聞いて街づくりをしているのだなあと。すばらしいと思いました。
- じっくり読んでいない
- 市の将来についての話合は大切、計画倒れにならぬ様出来る事と考える事は必要があると思う
- 関心はある
- 責任重大そう。
- 私は現在一人暮らしですが、特に不自由していることも不満もないので、良質な意見が出なそうです。
- 面倒だから
- 武蔵野市には営業所（事務所）として居る為越境です。
- 市民ワークショップの具体的な内容を知ることが出来ました
- 市民の皆様の切実な声を参考にすることは、未来に向かって大切な事と思います
- 関心があるが、うまく話せなそうなので。
- 市民として関心を持たなければと思いました。
- むずかしそう
- 難しそう
- あるだろうとは思っていたが、自分には関係ないと思っていた。
- 日頃問題意識を持っていないと難しそう
- 興味半分「子ども・教育」についてわからない
- 良い機会が設けられ嬉しく思います。
- ちょっとむずかしそう
- 自分にはむずかしいと思った
- 大切なことで、今後も住む予定なので考えていくことは必要だと思った。
- 病床にて考えがまとまらない。
- 興味はある。
- どんな様子で行われるのか具体的に想像できず不安である
- 計画案見ていない段階で参加意思は疑問

- 良いことだと思った。
- 前向きな企画、いろいろチャレンジの姿勢に好印象です。
- いろいろの方の意見を交換することは有意義である
- 関心はありますが、現在の私には参加は不可能と思いました
- むずかしそう
- 参加しても実際に実行されるのか、ただ聞きおだけかと思われる
- 市民の声を聞く会があるのはよいなと思いました。
- 関心がある
- 計画案について具体的な内容がほしい
- 時間が無いので参加できない！託児・手話サービスはあるのに！

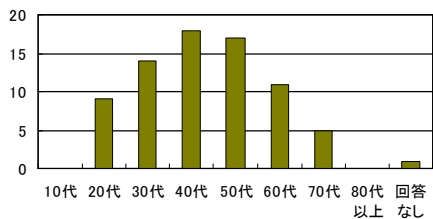
3 今回参加されない理由について（いくつでも）

項目	回答数	比率 (%)
① 仕事がある	75	25.5%
② 家事・育児・介護等	51	17.3%
③ 冠婚葬祭に出席する	13	4.4%
④ 健康・身体的理由により参加が困難	40	13.6%
⑤ 買い物・レジャー・旅行に出かける	32	10.9%
⑥ 内容が難しそう	16	5.4%
⑦ このイベントに関心・興味がない	14	4.8%
⑧ テーマに興味・関心がない	8	2.7%
⑨ つまらなそう	1	0.3%
⑩ 面倒だから	7	2.4%
⑪ 報酬が安い	3	1.0%
⑫ 会場が遠い	4	1.4%
⑬ その他	62	21.1%
回答なし	4	1.4%
合計	330	—

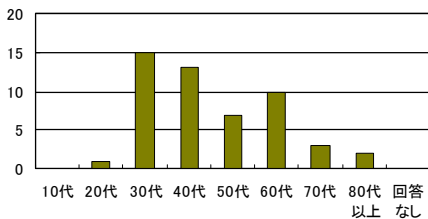


参加されない理由（年代別）

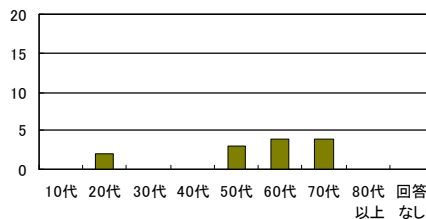
①仕事がある



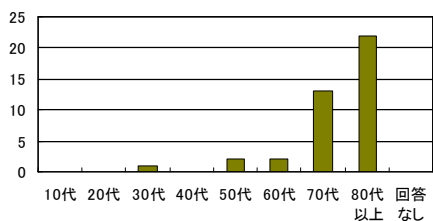
②家事・育児・介護等



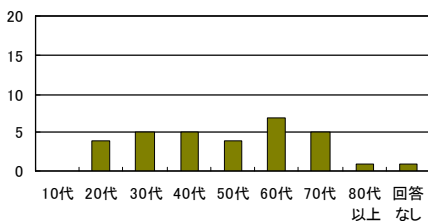
③冠婚葬祭に出席する



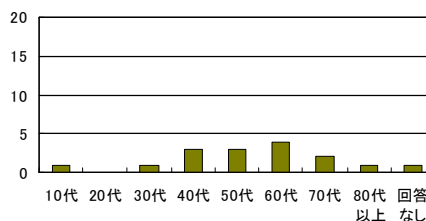
④健康・身体的理由により参加が困難



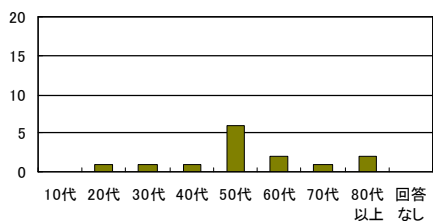
⑤買い物・レジャー・旅行に出かける



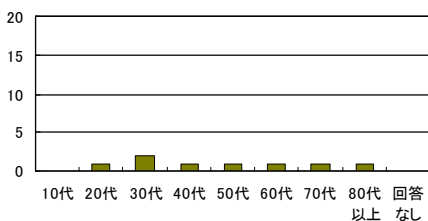
⑥内容が難しそう



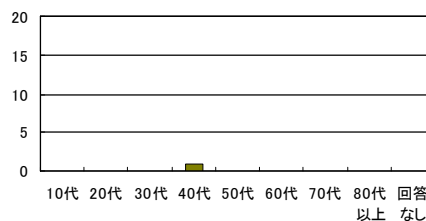
⑦このイベントに関心・興味がない



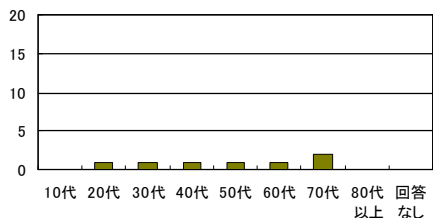
⑧テーマに興味・関心がない



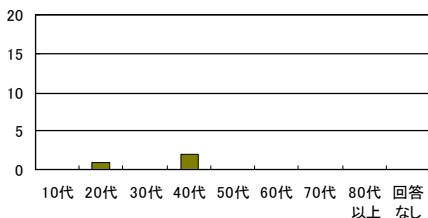
⑨つまらなそう



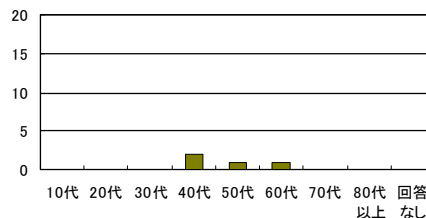
⑩面倒だから



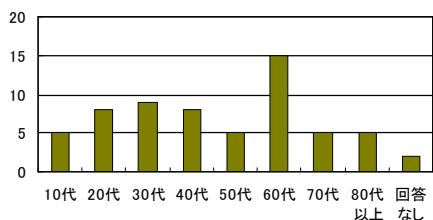
⑪報酬が安い



⑫会場が遠い



⑬その他



『⑬その他』の回答：

- テーマに興味がない。
- 学校の行事と重なってしまっているため。
- 発表会に出演（14：00～16：00）
- 市が案をつくり、論点を絞り込めば参加する
- 集まっている方々のレベルが不安
- 趣味でのイベントが多い季節、関心が無い訳ではありませんが・・・
- 報酬が高すぎる。時間都合が悪い、午前中がよかった。
- 1回目と2回目を行った結果報告、実際に採用された意見がのっていない為、自分の意見が反映されないと感じる。故に出ても意味はないと感じた。
- 学校関係が忙しいため
- 子どもの行事に重なってしまっているので残念です。
- 転勤で今の所に居る為
- 話すのがとても苦手です。
- 武蔵野市文化祭出席、その後の仕事のため
- 他の行事と重なり先約の為。
- (大学の) サークル活動
- 個展開催中のため都合つかない
- 参加したいがボランティア（野球指導活動）と重なる為
- 上記に当てはまらない都合で日曜日は参加出来ない。
- 特に不自由していることも不満もないので、良質な意見が出なそうです。
- 娘の産後の世話
- 子供関係の用事がある為。
- 為になるような感じがする
- 10月は行事も多く参加出来そうもない
- 10年先迄生きてないと思うから、もっと若い人に参加してほしい。
- 転勤族なので、武蔵野市にいつまでいるかわからない。
- 母の介護の為
- 受験生なので時間がない。
- 92才高齢の為
- 回数2回というのが多い
- 報酬が高い
- 困ったことがあれば市に相談にのって頂き度いと思っています
- 抽選であって自身の経験・専門性への期待があるわけではないこともあり週末2日かけて参加するには及ばないと考えた。
- 日曜に予定あり
- 上京して5ヶ月しかたっておらず、市のことをよく知らないため。
- 16日は子供の運動会です
- 用事で出掛ける
- まだ居住年数も少なく、自信がない為
- 文化祭の準備などで忙しいため
- 自信がない
- 知識もない自分の意見が大切な市の方針に影響を及ぼすのが怖い。その場の意見が後の自分に不利に働きそうで怖い。
- 独身ですので育児や教育と言われても発言できません。福祉についても自分の家族がこの街に住んでいないのでピンときません。
- 大学生で部活動があるため参加できない
- すいません学会等で大変忙しい時期です
- 勉強しなければならない

- 体調不良
- 子供の行事
- 毎日曜日教会に行っているの（遠いので）時間的に余裕がない
- 市民文化祭参加の為。
- 10月より地方に転勤となりまして悪しからず
- 1回目が市民文化祭での仕事があるため。
- 予定がある
- 障害があり参加出来ない
- 体調不良
- 話だけで終わりそうだから
- 自分の年齢がまだ若すぎると感じたのと、受験勉強で少し忙しいため。
- 10月は仕事が多忙なため
- 大事な稽古（茶会）と重なっているため
- 参加しても実際に実行されるのか、ただ聞きおくだけかと思われる
- 時間的に全く余裕がない
- 部活がある
- 健康・福祉だけではわかりません
- 単身赴任中で出席できません

4 2日間というスケジュールについて

項目	回答数	比率 (%)
① ちょうどよい。	134	45.6%
② 長い（1日のみならよい）。	75	25.5%
③ 短い。	11	3.7%
④ その他	34	11.6%
回答なし	40	13.6%
合計	294	

『④その他』の回答：

- わかりません。
- どちらともいえない
- 遠い
- 場所が遠い
- 半日だったら2日でもよいと思う。
- わからない
- 何を議論するかによる
- わからない
- 時間短く、3日くらいに。
- 情報開示がない為、答えようがない。
- 3日間がよい
- わからない
- 内容に対してはちょうどよいのだろうと思うが、時間が取れない。
- 体験してみないと分かりません
- 分らない
- どのような計画を話し合うかわからないので、長いかわかりません。漠然と「健康・福祉」だけでは・・・。
- 内容による
- わからない
- 月一回程度で何回か進めていく案。謝礼金は古い。
- 参加してみないとなんとも言えない

- わからない
- パソコン不調でホームページ等見られないので分らない
- 全然問題意識の無いものが参加するなら、一からの勉強となるので短い。既に問題点を把握している人にはどうであろう。
- わからない
- はっきりわからない
- わかりません
- ？
- 分からない
- 内容を把握していないので決めかねる
- 介護者は参加できない！
- 参加してそれがどの程度意義のある物になるかで・・・長い短いの感想は来るでしょう。

5 時間について

項目	回答数	比率 (%)
① ちょうどよい。	154	52.4%
② 長い。	58	19.7%
③ 短い。	10	3.4%
④ その他	27	9.2%
回答なし	45	15.3%
合計	294	

『④その他』の回答：

- よくわかりません。
- 参加してみないと何とも言えない。
- 何を議論するかによる
- わからない
- 情報開示がない為、答えようがない。
- 1日のみで4～5時間位
- そのくらい必要だとは思うが、子供がいるので長い・難しい。
- 分らない
- 午前中なら良い
- 内容による
- わからない
- 参加してみないとなんとも言えない
- わからない
- パソコン不調でホームページ等見られないので分らない
- わからない
- はっきりわからないけれど少し長いような気もする
- わかりません
- その時の流れで長くなることもあると思います。参加者は半日付き合うくらいの気持ちに。
- 時間は丁度よいが、午前中がよい
- 内容を把握していないので決めかねる
- 集まった人達で変わってくる！
- 参加してそれがどの程度意義のある物になるかで・・・長い短いの感想は来るでしょう。

6 次回、このようなイベントの参加依頼書が届いたらどうしますか。(いくつでも)

項目	回答数	比率(%)
① 参加する・参加したい。	13	4.4%
② 他に予定がなければ参加する・参加したい	116	39.5%
③ 手法やテーマしだいで参加する。	70	23.8%
④ 報酬が高ければ参加する。	5	1.7%
⑤ 会場が近ければ参加する。	8	2.7%
⑥ 参加しない・参加したくない。	60	20.4%
⑦ その他	33	11.2%
回答なし	11	3.7%
合計	316	—

『④その他』の回答：

- 高齢の為参加出来ない。
- 年齢的に不都合がなければ参加したい気持ちはあります。
- 生きているかどうか・・・？
- 市が案をつくり、論点を絞り込めば参加する
- 報酬がなければ参加するかもしれない。我々の税金を無駄に使わないで欲しい。
- 一人では行動が出来ない
- よりわかりやすく、若年層にもターゲットをあてていると感じれば。
- またその時に考えます。
- 身体が許せば参加したい
- 90才の老人では無理と思う、若い人の意見大切
- その時になってみないとわからない
- 体調次第です
- 健康状態次第
- 外出が体力不足。
- 予定がなければ参加する
- 平日の午後7：00からなら参加可能。
- 健康上の理由で参加できない
- 仕事の都合で地方にすることが多いので無理だと思う
- わからない
- 参加依頼書はもう少し意欲的に参加したい方へ送って欲しい
- 高齢で参加出来ない
- その時にならなければ分らない
- 分かりやすい説明があれば参加してみたい
- その時にならないとわからない
- 参加出来ない
- 報酬がなければ参加する
- 参加しても実際に実行されるのか、ただ聞きおだけかと思われる
- 時間の余裕がない為
- 余裕があれば・・・？
- 参加したいけど出来ない！
- 時間が出来れば・・・参加したいが・・・。

7 その他、ご意見などがございましたら自由にご記入ください。

- 市民が市政への関心を高められる良い機会だと思います。ありがとうございました。
- ワークショップ賛成です。日本で住んでみたいまちの第一位ですから、よろしく願い致します。

- 年寄りが気軽に参加出来たら嬉しいですが。
- 100名以上の人に1回につき8,000円の報酬を支払う財源は、税金ですか？
- 計画案についてアンケート調査してもよいのではないか。
- Weekdayの方が良いと思います。
- 年齢も配慮下さい
- 子供（5才、3才、妊娠中）がいるので気持ちはありますがなかなか難しいです。
- 今一番の心配事は、放射能問題です。将来を担う日本の子供たちを放射能から守らなくてはなりません。そのために一人一人今できることをやるべきだと思います。
- がんばって！！みなさんによろしく
- 周囲の友人の自治体でこういった事を実施している所はなく、武蔵野市らしい素晴らしい取り組みだと思います。次回は『街づくり』をメインテーマにやってほしいと思います。
- 最低限の知識データを事前に渡しておかないと、とても時間的に無理だと思う。単なるガス抜きに終わっても意味がないだろう。
- 武蔵野市をよくしたいと思う。どのように意見を聞きながらやっていくのか、市の考え方を示すべきだ、ポーズになってはいけない。
- 市民の意見を収集するのに報酬が必要なのか疑問である、交通費のみで充分である。ワークショップ自体がイベント化させてはいけない。誠に市民の意見を参考にする意があるなら、他に方法があるだろうと思った。
- 13:00に20分ほど遅刻しそうになるので残念ながら欠席です
- 先日そちらで男性の係の方に、近隣の犬の音がうるさいとの事で相談にうかがいました。翌日勇気を出して前の家の方へ言うと、心よく聞いてくれ、お互いに気持ち良く住みましょうと言っていただき、以前に比べ静かになり協力してもらっています。後の住人には言わずにがまんしていますが1件だけでも静かにしてもらいたいびがいます。色々とお世話になりありがとうございました。
- 他での社会活動に参加し、その中でいろいろな方と意見交換はしているつもりです。このような機会があるのは良いことだと思っています。
- 老人福祉については、十分に近く行われていると思う。若い方々、子供の教育等に向けてほしい。
- 報酬が高いのに驚いた！私は出来高の仕事をしているけれど、市の集会に参加してこれだけもらえるのは意外です。よほどいい意見を出し、濃密な集会で、むだのないものであることなのでしょう。ある意味問題あると思う。10年計画については、広い層からの声をひろえるように、又は自発的に考えをそちらに出せるようにすべき。
- 子ども小学生の医療費が無料になりよかったです。（2年札幌に引越している間にかわってました。）武蔵野市がもっとさらに住みやすい場所になるように期待します。自転車道の整備や駐輪場など。
- 協力できず申し訳ありません。
- 計画案に含まれる分野をすべて記載して配布されれば分かりやすい。分野・課題を選択することは不可となっているが事前に選択できる方がよい。
- 何しろ高齢なので、計画は将来立つ若い人が討論するのがよい。70才迄が自分の住む町を良くする様皆で努力する事が大切。若い頭で考えてもらう事。
- こん回は都合悪く出席できないが、次回も選ばれたら参加したい
- 出来るだけ若い方の意見を取り入れた方が良いと思います
- 吉祥寺駅前の開発は良く考えてもらいたい。地元の良い商店が消え、大資本・若者向け・安売りだけの街になってしまうのではないかと心配しています。地元の人達が納得できる計画が必要ではないでしょうか。
- 福祉には興味があります。地区でボランティアをしています。しかし合合にて意見を述べる事は非常に苦手としています。
- こういう企画に謝礼というものが必要なのでしょうか？参加者の意見に最初から色が着いている可能性は？
- 武蔵野市に住んでみて、人気がある理由がわかりました。便利で緑もあって、住まれている方が

- 優しいです。これからも武蔵野市に住み続けようと思っています。
- 参加依頼書の内容がアバウトすぎてよくわかりにくかった。もう少し具体的に説明があっても良い感じでした。
 - 公共の工事は地元の業者だけでなく、高い技術力を持った大手にお願いして欲しい。特に道路工事は本当に技術力があるものだと思います。
 - 今回は参加できずにすみません。自分達の町の今後にたずさわれるなんて素敵だと思いました。武蔵野市は意識の高い人が多いと思いますので楽しみにしています。
 - 日頃暮らしの中の経験をおして考えている事柄を発表できるというワークショップは実に新鮮な試みとして期待できます。武蔵野市政の先見性と実践力に感じ入りました。
 - 計画案を承諾書返送前に知らせるべきかと思う。テーマの分野・課題などは関心のある分野を選べるようにすべきと思う。
 - ワークショップという催しがあることは知りませんでした。広く市民の方々の意見が取り上げられることは嬉しいことです。よく分かりませんが謝礼が必要なのでしょうか、気が重い気がしますが・・・。
 - 関心が無いわけではありませんが年齢的に無理です。
 - 託児サービスの利用が可能であれば、介護サービスの利用も検討いただきたいと思います。
 - いい企画だとは思いますが、参加できる人がかたよると思います
 - 自分は今のところ主人共元気にしていますが、高齢者が増えてゆくこれからの為に、もっと施設が、安心して暮らせる環境が増えると良いと思います。
 - 無作為とはいえ、年齢制限をきめてもよいのでは
 - 駐輪場を増やしてほしい、自転車で買い物をしようとしてもアキがない
 - 市民が直接、市の計画案について意見を交換できる場があるのは良いことだと思いました。住民の声こそが一番に反映されるべきだと思います。
 - 1回・午前中におわるようにしてほしい、日曜午後2回つづれるのは、ありえない
 - 参加出来たら、話したかったひとつに産後育児があります。産後60日以内のヘルパー支援がありますが、60日は短いです。産婦の多くは里帰りから自宅に戻ってから大変な思いをしております。私も自宅に戻って10日間しか利用できず、つらかった記憶があります。
 - コミュニティーセンターごとに意見をまとめても良いのではないのでしょうか。
 - 若い者年齢の高い人皆でいろいろの詰合の出来る事とてもよい事と思います
 - 日頃余り問題意識も持たず生活していて何の役にも立てず申し訳なく思いますのに困ったら助けて頂き度いと心から願って居ります宜敷く御願ひ申します
 - 現在妊娠中&子育て、日曜は夫が出張と重なり不参加となりますが、また機会がありましたら参加致します。
 - 突然封書が届いた時は何なのか？何の事かわからず正直驚きましたが、市民の意見交換の場をキチンとした形で行うことはとてもよい試みだと思いました。まずはもっと沢山の人の人に知ってもらい、年代別に分けてみても面白いのかと思いました。
 - 計画案を同時に送付したほうが、より具体的なイメージができるのでは？テーマも可能ならば選性（希望）があったほうが参加者も話しやすいのでは？
 - これは良い企画と思います。
 - 参加できず申し訳ありません
 - 在住している武蔵野市での身近な問題に係る事のできる良いワークショップだと思います。これからも市民に接した市政が行われる事を望んでおります。
 - せっかく選んでいただきましたが、年齢的にはもう少し若い人の方が良かったのでは・・・。娘（主婦）40代など「私なら参加する」と言っていました。大田区に50年間住んでいて、今年転居してきて吉祥寺という街を買物に歩くだけで武蔵野市の計画と言われても何も分からず何も思いつきません。申し訳ありませんが不参加にします。
 - 遅くなりました
 - 私はご協力したい気持ちもありますが、まだ居住年数も少なく武蔵野市の歴史等も勉強不足の為。お断わりさせていただきます。申し訳ございません。

- 昼ではなく夜間 18:00 以降に時間帯をかえて下さい
- 10 年先など考えてもどうしようもなく、そんな時間があれば市政に精を出して頂き、我々は毎日精一杯生きることだけだと思います。
- もっと絞ったテーマが必要では？駅前駐輪場や防災など。
- あの説明で、当日自分が何をするのか、何を求められるのか、その後が後にどう反映するのか、名前が出るのか等、全く分からない。
- 武蔵野市には以前住んでいましたが、40 年近く離れていてこちらに引越して来てまだ 10 ヶ月なので、長期計画や基本構想、市の問題点などがまだわかっていない。
- ご協力できず申し訳ございません。ご案内によりいろいろ考えるきっかけにはなりました。
- 100 人集まれば方向性が出せるのかどうか。関心のない人間を減らすということなのか。このワークショップに入れなかったが多大な関心を持ち、多様な意見を持つ人たちがいたとしたらもったいない。また健康・福祉について、市としてどのような施策・計画が現在あるのかによっても話の方向がかわってくるのではないかと思う。問題に直面している人に話を聞くのが一番よい。
- 参加出来ず残念です、機会があれば次回参加してみたいです。その際には 1 日で。
- 本人は入院中ですので代筆しました
- 依頼通知をもう少し前もって送付していただければと思いました。
- 第三小学校の近くに住んでいますが、地震発生時、注意を促すアナウンスが小学校から流れます。注意喚起にはなると思いますが、アナウンスが何を言っているのか聞き取れないし、音がとても不気味です。正直、恐怖心の方が強いです。何とかしていただけないでしょうか。
- 行政に携わる方がメインになり市民の皆さまがメンバーに加わった形で、プロジェクトチームにワークショップから発展すると良いと思います。(人選が背景等があり大変とは思いますが・・・) 残念ながら仕事の都合がつかず参加断念致しました。また是非お誘い下さい。
- いろいろな要望について署名活動に参加していますので特に意見はありません。
- 自転車置場を品川のように駅前の地下につくって下さい。駅前に高価なビルをたてるぐらいなら、市民税をやすくしてほしいです。
- 少し興味はありますが、両日ともに仕事のため、参加出来ません。2 日間の日程であれば、どちらかを土曜日にするなど、曜日がずれていれば参加出来るのですが・・・。
- これを機会に、この毎の「計画案」の経過、結果を注視し、パブリックコメントなどを通して、あたしの考えを述べてみたいと思っております。申し訳ございません、ワークショップに参加はいたしません、市のこれからについて深く考える好機をお与えくださいまして、どうもありがとうございました。
- 文化事業についても提案したいと思います。
- 市民からの意見や要望を整理して、ホームページにのせてほしい。ホームページからも意見を出せるようにしてほしい。色々な意見が集まった時点で、今回のようなワークショップを開けば、事前に検討できるので有意義になると思う。武蔵野市は大学や高校にあるので、連けいした活動や、高学歴主婦の動き口も増やしてほしい。
- 今回も 1 日であれば参加が出来そうですが、せっかく参加するなら両日参加したいので、不参加にさせていただきます。
- 駐輪場を増やしてほしい。自転車で土・日に行くとどこも満車で止められません。
- 今回は受験のために残念ながら参加できませんでしたが、次回もしこのような機会があれば是非参加させてもらいたいと思います。
- 年齢的に余り役に立てないと思います(85 才なので)
- 日本人としてマナーの悪さ、ゴミ捨て、カンポイ捨て、自転車のマナー、一人一人が自然と共用し、協力し合って日本を良くしたいですね。身近なものとして、動物、生き物をもっと大切にしてください。動物収容施設(どうぶつたちへのレクリエム)多くの人にとって頂きたいです。
- 返信遅くなり申しわけありません。
- 目下のところ都合により山梨県在住(但し武蔵野市に家がある)で通勤可能なも家事都合で出席不可能の状態にある。但し、市役所の仕事には大いに参加をしたい希望大いにあり。又宜しく願ひ上げます。

- 病気療養中、参加したくても出席できない
- 市のことに関して、本気で考え、参加し、交換したいという前向きな方であれば、報酬などいらないと思う。市民のためになることであれば、いいと思います。
- 癌療養中のため欠席させていただきます。
- ①リハビリの散歩しておりますが、歩道を自転車が前後から走ってくるので、安心してリハビリのため散歩するのも大変です。 ②さわやかヨガに参加したいのですが、毎回会場にいつも先着150名のため、初心者には参加できません。(リハビリに参加したいのですが) ③地域健康クラブの様に安心して参加出来るように指導してもらえないでしょうか。 ④市の色々なクラブがある様ですがリハビリや初心者向けの教室があった方がいいと思います。
- 市議会議員を今の人数の半数以下にしてください！図書館（境駅前の武蔵野プレイス）こんなものを作らないで！特老と保育園・幼稚園の一体化した物を作るべき！駅前ならば皆が毎日通いやすいです！自分がその立場になって考えて下さい！身内の介護者、介護現場で働く人達、病院などのシステム！救急車を呼んでも受け入れる病院がなかなか決まらない！（1時間以上は決まらない！）無能な市議会議員はいらない！（半数以下に！）議員は介護施設で1年は働くべき！（市の職員の人達も順番に介護施設で働くべき）これを働いた人が始めて議員として立候補出来るというシステムを永久法律として決める！議員はすぐに半数以下になるはず！ペーパーアンケートならば参加出来る人はいると思います！あと介護施設へ行って入居者、その家族、現場で働いている人達の意見は聞けるはず！
- 報酬が出るのに驚きました。けっこうな金額になると思いますが・・・やはり謝礼がないと人が集まらないのでしょうか？例えば報酬は地域通貨にするなど地域活性化につながるようにはできませんか？

4 その他資料

(1) ワークショップのご案内
(表面・新規参加者用)

武蔵野市のこれから10年間の計画について、 みんなで話し合ってみませんか



この考え方はいいと思う。

こういうことには取組まなくていいかしら...

こういうことにやったらいいと思う。

いや、こうすればもっとよくなるよ。

いやいや、それはどうだと思っ

武蔵野市で現在策定中の第五期基本構想・長期計画は、多くの市民の理解と協力を得ていた段階、策定作業を進めるため、具体的に議論が可能な方々によるワークショップを開催します。ワークショップは、前年11月から開催しており、今回は新たなテーマの第五期基本構想・長期計画の「計画案」についてです。

武蔵野市の今後10年間の展望となる計画案について、ご感想をいただくことや意見をいただくなどを通して、具体的に話し合いたいと考えています。この機会に、住んでいるまちについて、いろいろな声や意見を交わしてみませんか。

※ 前年度と同様にワークショップの参加は、無料です。ご参加いただくことができます。

※ 申し込みの締切は、第五期基本構想・長期計画策定委員会での議決の報告となります。

行ってみようかな、どうしようかな... 計画なんて話しどうなの...

15分程度ですが、計画案について意見を述べていただくことを通じて、いろいろな声や意見を交わしてみませんか。

基本構想・長期計画って何...?

基本構想・長期計画とは、今後10年間の市の発展の方向性を定めることと、そのための具体的な施策や取り組みを定めることとです。

ワークショップって何...?

今回のワークショップでは、お一人お一人グループとして、グループ内で自由に意見を話し合ってください。その後、グループの意見をまとめて発表を行います。

計画案って何...?

計画案とは、基本構想・長期計画の策定作業が市民に委ねられる形での計画案となることとです。

ぜひご参加ください!

※この事業は、住民基本台帳が15歳以上の世帯の1,000人を無作為に抽出して行われます。

(表面・前回参加者用)

第五期基本構想・長期計画計画案についての ワークショップにぜひご参加ください



この考え方はいいと思う。

こういうことには取組まなくていいかしら...

こういうことにやったらいいと思う。

いや、こうすればもっとよくなるよ。

いやいや、それはどうだと思っ

武蔵野市で現在策定中の第五期基本構想・長期計画は、多くの市民の理解と協力を得ていた段階、策定作業を進めるため、具体的に議論が可能な方々によるワークショップを開催します。ワークショップは、前年11月から開催しており、今回は新たなテーマの第五期基本構想・長期計画の「計画案」についてです。

武蔵野市の今後10年間の展望となる計画案について、ご感想をいただくことや意見をいただくなどを通して、具体的に話し合いたいと考えています。この機会に、住んでいるまちについて、いろいろな声や意見を交わしてみませんか。

※ 前年度と同様にワークショップの参加は、無料です。ご参加いただくことができます。

※ 申し込みの締切は、第五期基本構想・長期計画策定委員会での議決の報告となります。

今回の話し合いの方法は...?

今回の話し合いは、4～6人程度のグループとして、グループ内で自由に意見を述べていただくことができます。その後、グループの意見をまとめて発表を行います。

計画案って何...?

計画案とは、基本構想・長期計画の策定作業が市民に委ねられる形での計画案となることとです。

ぜひご参加ください!

※この事業は、前年度11月に実施したワークショップで参加した世帯を抽出して行われます。

(裏面)

1 日時等

※申し込みは、申込書に記入していただく必要はありません。

	第1日目	第2日目
日時	平成28年10月16日(日) 15:00~16:30(予定)	平成28年10月22日(日) 15:00~16:30(予定)
会場	武蔵野市役所 本棟8階 811会議室 (緑区2-2-25)	
テーマ	<計画案について> 1. 児童・福祉子ども・高齢など、分野ごとに話し合ってみよう	

※ 計画案は、10月1日前後に市情報委員会ホームページで公表する予定です。
※ テーマの分野・議題は変更されません。

2 謝礼等

1日につき7,000円(参加費込)3,800円、11月20日前後に口座振替によりお支払いする予定です。

3 参加定員数

参加者を1日あたり100名

4 参加を承諾される方

(1) 承諾書の送付
お申し込みを承諾いただいた方、お申し込み後、承諾書送付に記入のうえ、同封の返信用封筒に必ずお返送ください。**(平成28年9月27日(日)必着)**

(2) 参加費の返付
参加を承諾された方が100名を超過した場合、抽選により参加費を返付いたします。参加費を返付された全員が返付の結果をご確認ください。

(3) その他
・参加できる方：酒類の飲用が認められず、未成年の方も参加できません。ご参加の際は、ご自身の責任で飲用してください。
・お酒・手荷物が必要の方は、承諾書に記入ください。
・上記100名以内で、前年度までのワークショップに参加された方にもお申し込みいただけます。

5 参加を承諾されない方

お申し込み後、同封のアンケートにお返事をいただけない場合は、FAXまたは同封の返信用封筒による平成28年9月27日(日)までにご連絡ください。

6 その他

お申し込みのうえ、ワークショップ参加にはお申し込み用紙が必須です。

※お申し込み先

武蔵野市 企画課 市民参加課
〒181-8577 武蔵野市緑区 2-2-25
TEL 0422-60-1801
FAX 0422-51-6633
E-mail: ssc@kaihou.city.musashino.lg.jp

(承諾書兼振込依頼書)

承諾書 兼 振込依頼書

別紙、武蔵野市市民参加課・長期計画部より発行されたワークショップの参加を承諾し、お申し込みのうえを承諾します。

平成28年 月 日

お名前 _____

住所 〒 区 丁目 番 号 _____

ご住所 郵便番号 _____

電話番号 _____

参加費返付先

●お振込先
お振込の金額を振込先に入金ください。1日お振込み2回でも可。お振込みの振込先が不明な場合はお問い合わせください。

お振込先	IBAN	アキラ(別紙)
平成28年10月16日(日)	15:00~16:30(予定)	「健康・福祉」など、分野ごとに話し合ってみよう
平成28年10月22日(日)	15:00~16:30(予定)	

※お振込の振込先が不明な場合はお問い合わせください。

●お振込先

振込銀行	銀行・信用金庫	支店
振込種別	普通 当座	一七番
口座名義	アキラ	
	氏名	

●お振込先お申し込み先
①お振込先 ②お振込先(お振込の金額) _____ 年 月 日

●お振込先のお振込先
①お振込先 ②お振込先

※お振込先のお振込先が不明な場合は、武蔵野市市民参加課・長期計画部より発行されたワークショップの参加用紙に必ずお申し込みください。

(2) ワークショップへのご案内 (再送付)

ワークショップへのご案内 (再送付)

新秋の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

過日、第五期基本構想・長期計画無作為抽出市民ワークショップへの参加についてご案内いたしました。ご都合はいかがでしょうか。

参加のご承諾の期限は9月27日(火)必着となっております。お忙しいとは存じますが、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。また参加できない場合には、アンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

今後とも、市政にご協力くださいますようお願いいたします。

日時：平成23年10月16日(日) 13:00～
 平成23年10月23日(日) 13:00～

会場：武蔵野市役所西棟8階811会議室

※戻にご返信いただいている場合はご容赦ください。

武蔵野市企画政策室企画調整課
 TEL 0422-60-1801
 FAX 0422-51-5638
 E-mail sec_kikaku@city.musashino.lg.jp

(3) 参加承諾者への当選通知

< 新規抽出者宛 >

各位

新秋の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

第五期長期計画無作為抽出市民ワークショップへの参加のご承諾をいただき、まことにありがとうございます。

ご承諾いただいた方全員にご参加いただくことになりましたので、お知らせいたします。当日、このハガキをお持ちください。

それでは、ご来場を心よりお待ちしております。

※ワークショップは公開で行います。
 ※計画案について、市報10/1特集号等でご覧ください。

■日時等	10月16日 13時～	「健康・福祉」「子ども・教育」 「文化・市民生活」
	10月23日 13時～	「緑・環境」「都市基盤」 「行・財政」

■会場：武蔵野市役所
 西棟8階811会議室
 (緑町2-2-28)

☆吉祥寺駅(北口①のりば)
 柳沢駅前行き(武蔵野市役所経由)
 「武蔵野市役所」下車

☆三鷹駅(北口①のりば)
 北森、武蔵境駅、田無橋場行き
 「武蔵野市役所前」下車

☆武蔵境駅(北口⑤のりば)
 三鷹駅行き「武蔵野営業所」下車徒歩8分

■お問い合わせ ■ 武蔵野市企画政策室企画調整課
 TEL 0422-60-1801 FAX 0422-51-5638
 E-mail sec_kikaku@city.musashino.lg.jp
 ※当日のご連絡は、090-4399-9522へ。

< 前回参加者宛 >

各位

新秋の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

第五期長期計画無作為抽出市民ワークショップへの参加のご承諾をいただき、まことにありがとうございます。

厳正な抽選を行った結果ご参加いただけることとなりましたので、お知らせいたします。当日、このハガキを会場受付に提示いただきますようお願いいたします。

それでは、ご来場を心よりお待ちしております。

※ワークショップは公開で行います。
 ※計画案は、市報10/1号で特集しています。ぜひご覧ください。

■日時等	10月16日 13時～	「健康・福祉」「子ども・教育」 「文化・市民生活」
	10月23日 13時～	「緑・環境」「都市基盤」 「行・財政」

■会場：武蔵野市役所
 西棟8階811会議室
 (緑町2-2-28)

☆吉祥寺駅(北口①のりば)
 柳沢駅前行き(武蔵野市役所経由)
 「武蔵野市役所」下車

☆三鷹駅(北口①のりば)
 北森、武蔵境駅、田無橋場行き
 「武蔵野市役所前」下車

☆武蔵境駅(北口⑤のりば)
 三鷹駅行き「武蔵野営業所」下車徒歩8分

■お問い合わせ ■ 武蔵野市企画政策室企画調整課
 TEL 0422-60-1801 FAX 0422-51-5638
 E-mail sec_kikaku@city.musashino.lg.jp
 ※当日のご連絡は、090-4399-9522へ。

（4）参加承諾者への落選通知

＜前回参加者（1日のみ承諾者）宛＞

各位
 仲秋の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

過日、第五期長期計画無作為抽出市民ワークショップへの参加についてご案内しましたところ、2日間のうち1日の参加を希望される承諾書をご返送いただきました。しかしながら、今回は定員を上回るご承諾をいただいたため、ご案内にも記載しました通り、2日間ともご参加いただける方を優先することとなりましたことをご報告いたします。今回は残念ながらご参加いただけないことになりましたが、計画案について、パブリックコメントによる意見募集を行っておりますので、文書、E-mail等で企画調整課までご意見をお寄せいただければ幸いです。

今後とも、市政にご協力くださいますようお願いいたします。

武蔵野市企画政策室企画調整課
 〒180-8777 武蔵野市緑町 2-2-28
 TEL 0422-60-1801
 FAX 0422-51-5638
 E-mail sec-kikaku@city.musashino.lg.jp

＜前回参加者（2日間承諾者）宛＞

各位
 仲秋の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

過日、第五期長期計画無作為抽出市民ワークショップへの参加についてご案内しましたところ、ご快諾くださいまして誠にありがとうございました。しかしながら、20名の定員を上回る48名の方にご承諾いただいたため、ご案内に記載しました通り、厳正な抽選を行った結果、残念ながらご参加いただくことができないこととなりましたこと、お知らせいたします。なお、計画案について、パブリックコメントによる意見募集を行っておりますので、文書、E-mail等で企画調整課までご意見をお寄せいただければ幸いです。

今後とも、市政にご協力くださいますようお願いいたします。

武蔵野市企画政策室企画調整課
 〒180-8777 武蔵野市緑町 2-2-28
 TEL 0422-60-1801
 FAX 0422-51-5638
 E-mail sec-kikaku@city.musashino.lg.jp

※新規抽出者は定員に満たなかったため全員当選。

（5）見学のルール

ワークショップ見学のルール

- 1 見学の手続
 - ① ワークショップを希望する人は、最前で行われる市民名簿記入し、入場券（見学者）を貰う必要があるためです。
- 2 見学の対象
 - ① 見学の定員は、原則として1日1人定員とし、事後参加の対応を希望して来場しない。
- 3 会場に入る人ができない人
 - ① 事前予約の抽籤結果が不利な結果になっている人
 - ② 抽籤当日の予約と異なる人
 - ③ 緊急時、トラブル、他の緊急事態に巻き込まれる人
 - ④ 病、ケガ、高齢者の健康状態の悪化等がある人
 - ⑤ 急病を誘発し、又は人口動態を把握できなくなる人
- 4 見学者の定員超過事項
 - ① 一時的定員超過は仕方ないので、あらかじめご了承ください。
 - ② 人数又は超過はできません。
 - ③ 病欠、ヒアリング等の理由又は緊急はできません。ただし、事前に事務局の許可を得る場合は例外です。
 - ④ ワークショップ見学者は、携帯電話の電源を切るか、マナーモードに設定してください。
 - ⑤ 定員のワークショップの抽籤に当選した者に行き届いてください。
 - ⑥ 申し込みの定員がなくなり先行者で個人でください。
 - ⑦ 見学者の確保はできません。
- 5 その他
 - ① 入場券は、抽籤結果が不利な場合は返金してはなりません。
 - ② 見学者は、事務局の抽籤の結果の再行に賛同があることと申し渡した場合又は見学者がこのルールで定める事項に違反した場合で、事務局が抽籤の結果の再行を要する場合は、抽籤に同意しない限りありません。
 - ③ 抽籤の結果は、見学者名簿事務局へご連絡ください。

1年間にかかる経費

施設種別	施設名	1年間にかかる経費
図書館	中央図書館	5億6,852万円
	吉祥寺図書館	1億6,950万円
	2施設合計	7億3,802万円
文化施設(ホール・劇場系)	文化会館	8億2,101万円
	公会堂	8,990万円
	スイングホール	1億9,198万円
	芸術劇場	8,307万円
文化施設(美術・生涯学習系)	吉祥寺美術館	1億4,580万円
	市民会館	1億1,200万円
	市民会議室	1,640万円
	松露堂	1,136万円
スポーツ施設	総合体育館 陸上競技場 フール 陸球場、野球場等	10億5,414万円
コミュニティセンター	19施設合計	3億6,243万円
	平均	1,908万円
あそべえ	あそべえ	1億2,440万円
子どもクラブ	子どもクラブ	1億6,856万円
市立保育園	9施設合計	20億8,848億円
	平均	2億3,205万円
桜堤児童館		5,278万円
0123(2施設)		1億2,684万円/2施設
福祉施設(障害者施設)	障害者福祉センター	1億1,642万円
	桜はうす・今泉	1,318万円
	なごみの家	1,191万円

第五期長期計画
無作為抽出市民ワークショップⅢ
(平成 23 年 10 月 16 日・10 月 23 日開催)
報告書

平成 23 年 12 月

発行 武蔵野市企画政策室企画調整課
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町 2 丁目 2 番 28 号
電話 0422-60-1801